平成２８年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書

平成２９年１２月

三原市教育委員会

目　　次

Ⅰ　はじめに　・・・

４．スポーツ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４１
（１）スポーツの推進
Ⅴ　学識経験者の意見等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５
Ⅵ　教育委員会が取り組む基本施策及び平成２８年度重点事業一覧　・・・・・・・・・４８

Ⅰ　はじめに

三原市は平成２６年９月に，今後のまちづくりの道標となる「三原市長期総合計画基本構想」（平成２７年度～３６年度）を策定し，基本構想で掲げた「三原元気戦略」や「５つの基本目標」を具体的に推進するための「みはら元気創造プラン（三原市長期総合計画基本計画）」（平成２７年度～３１年度）を平成２７年３月に策定しました。この計画に基づき，平成２７年６月に教育委員会として定めた「三原市教育振興基本計画」において，今後の中期的な施策・事業の具体的な内容や数値目標等を明らかにし，教育行政の充実を図っています。

その各主要事業について，三原市教育委員会では，地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第２６条により，教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書を作成しました。

この報告書は，「三原市教育振興基本計画」に掲載する主要事業及び教育委員会事務局が当該年度に重点として掲げた施策・事業への取組状況，成果，課題等について点検及び評価を行うに当って，学識経験者の意見等を反映することにより，「三原市教育振興基本計画」の進行管理や今後の事務改善等に反映させるものです。

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律】（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）
第 26 条　教育委員会は，毎年，その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い，その結果に関する報告書を作成し，これを議会に提出するとともに，公表しなければならない。
２　教育委員会は，前項の点検及び評価を行うに当たっては，教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ　点検及び評価方法

１．　点検及び評価の対象

三原市教育委員会の活動状況のほか,「三原市教育振興基本計画」(平成２７年度～平成３１年度)に掲載する主要事業並びに平成２８年度の教育委員会事務局の重点事業について，振興計画の施策体系に沿って分類し，その事業の目的，取組等の状況及び成果と課題を整理した内容を点検及び評価の対象としています。

２．　点検及び評価の対象年度

平成２８年度

３．　点検及び評価の方法

（１）点検及び評価の方法

点検及び評価を実施するに当たり，教育委員会会議の開催状況など，教育委員会の活動状況を明らかにするとともに，各主要事業及び重点事業について，所管課により事業の取組内容，成果・課題，今後の取組及び対象年度の事業指標を整理したものを，学識経験者が点検及び評価し，意見等をいただきます。

（２）学識経験者の知見の活用

平成２８年度の点検及び評価を行うに当たり，教育に関し学識経験を有する者として，次の委員を選任し，その知見を活用します。

委　　員	氏　　名
学 識 経 験 者	山 田 恭 樹
学 識 経 験 者	村 上 典 章
学 識 経 験 者	花 谷 浩 幸

Ⅲ　教育委員会の活動報告

１．　教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議は，地教行法及び「三原市教育委員会会議規則（以下「会議規則」という。）」に基づき，５人の委員（以下「教育委員」または「教育長」という。）が，市が処理する教育に関する事務で，教育機関の設置・管理・廃止，財産の管理，教育機関の職員の人事等，教育行政に関する基本及び重要な事案を審議する。

（１）会議開催回数

定例会　　１２回（毎月１回）

臨時会　　１回（３月に１回）

（２）審議事項

議決案件　３６件

報告案件　４２件

協議案件　　０件

（３）傍聴状況

傍聴人数　　０人

【開催日程及び付議案件】

開 催 日	付　議　し　た　案　件
4 月 20 日(水) (定例)	【議案】 第 12 号　三原リージョンプラザ設置及び管理条例施行規則の一部改正について 第 13 号　三原市勤労青少年ホーム運営委員会規則の廃止について 第 14 号　三原市教育委員会事務分掌規則の一部改正について 第 15 号　三原市教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部改正について 第 16 号　三原市スポーツ推進委員の委嘱について 第 17 号　三原市文化財保護審議会委員の委嘱について 第 18 号　県費負担教職員の任用について 【報告事項】 第 11 号　三原市教育委員会文書管理規程の一部改正について 第 12 号　三原市臨時職員取扱規程の一部改正に係る臨時代理の承認について 第 13 号　学校医の委託に係る臨時代理の承認について 第 14 号　平成２８年度三原市立小中学校の学校評議員の委嘱に係る臨時代理の承認について 第 15 号　三原市教育委員会職員（非常勤職員・臨時職員）の任用に係る臨時代理の承認について 第 16 号　県費負担教職員の任免及び懲戒その他の進退に係る内申の承認について
5 月 18 日(水) (定例)	【議案】 第 19 号　三原市立図書館協議会委員の委嘱について 第 20 号　三原市社会教育委員の委嘱について 第 21 号　三原市公民館運営審議会委員の委嘱について

	第 22 号　三原市教育委員会委員長の選挙について 第 23 号　三原市教育委員会委員長職務代理者の指定について 【報告事項】 第 17 号　三原市立幼稚園授業料徴収条例施行規則の一部改正について 第 18 号　県費負担教職員の任命及び懲戒その他の進退に係る内申の承認について 第 19 号　平成 28 年度三原市立小中学校の学校評議員の委嘱に係る臨時代理の承認について 第 20 号　三原市就学指導委員会委員の委嘱について 第 21 号　三原市学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について 第 22 号　三原市教育委員会職員（非常勤職員・臨時職員）の任用に係る臨時代理の承認について
6 月 22 日(水) （定例）	【議案】 第 24 号　平成 29 年度に義務教育諸学校で使用する教科用図書のうち学校教育法附則第９条の規定による図書に係る三原市採択基本方針について 第 25 号　三原市アレルギー疾患対策委員会委員の委嘱又は任命について 【報告事項】 第 23 号　平成 28 年第３回市議会定例会に提出の教育委員会関係予算及び議案に対する意見聴取に係る臨時代理の承認について 第 24 号　三原市臨時職員取扱規程の一部改正に係る臨時代理の承認について 第 25 号　三原市教育委員会職員（非常勤職員・臨時職員）の任用に係る臨時代理の承認について 第 26 号　県費負担教職員の任免及び懲戒その他の進退に係る内申の承認について
7 月 20 日(水) （定例）	【議案】 第 26 号　三原市立図書館設置及び管理条例施行規則の一部改正について 【報告事項】 第 27 号　三原市教育委員会職員（臨時職員）の任用に係る臨時代理の承認について 第 28 号　県費負担教職員の任免及び懲戒その他の進退に係る内申の承認について
8 月 17 日(水) （定例）	【議案】 第 27 号　平成 29 年度に義務教育諸学校で使用する教科用図書のうち特別支援学級において使用する教科用図書の採択について 【報告事項】 第 29 号　平成 28 年第４回市議会臨時会に提出の教育委員会関係予算に対する意見聴取に係る臨時代理の承認について 第 30 号　三原市教育委員会職員（臨時職員）の任用に係る臨時代理の承認について 第 31 号　県費負担教職員の任免及び懲戒その他の進退に係る内申の承認について

9月 20日(火) (定例)	【議案】 第28号　平成29年度三原市立学校隣接校選択制度の実施について 【報告事項】 第32号　平成28年第5回市議会定例会に提出の教育委員会関係予算に対する意見聴取に係る臨時代理の承認について 第33号　三原市立図書館設置及び管理条例施行規則の一部改正に係る臨時代理の承認について 第34号　三原市教育委員会職員（臨時職員）の任用に係る臨時代理の承認について 第35号　県費負担教職員の任免及び懲戒その他の進退に係る内申の承認について
10月 20日(木) (定例)	【議案】 第29号　三原市立幼稚園における園児募集に関する要領について 【報告事項】 第36号　三原市立図書館協議会委員の委嘱について 第37号　三原市教育委員会事務局職員の人事に係る臨時代理の承認について 第38号　三原市教育委員会職員（臨時職員）の任用に係る臨時代理の承認について 第39号　県費負担教職員の任免及び懲戒その他の進退に係る内申の承認について
11月 16日(水) (定例)	【議案】 第30号　平成27年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について 【報告事項】 第40号　三原市教育委員会職員（臨時職員）の任用に係る臨時代理の承認について 第41号　県費負担教職員の任免及び懲戒その他の進退に係る内申の承認について
12月 15日(木) (定例)	【報告事項】 第42号　平成28年第7回市議会定例会に提出の教育委員会関係予算及び議案に対する意見聴取に係る臨時代理の承認について 第43号　三原市教育委員会職員（臨時職員）の任用に係る臨時代理の承認について 第44号　県費負担教職員の任免及び懲戒その他の進退に係る内申の承認について
1月 18日(水) (定例)	【議案】 第1号　三原城跡歴史公園設置及び管理条例施行規則の制定について 第2号　三原市指定文化財の指定の解除に係る諮問について 第3号　三原市立幼稚園職員勤務成績評定に関する規則の廃止について

	【報告事項】 第１号　三原市教育委員会職員人事評価規程の制定について 第２号　三原市教育委員会職員（臨時職員）の任用に係る臨時代理の承認について 第３号　県費負担教職員の任免及び懲戒その他の進退に係る内申の承認について
２月 15 日(水) （定例）	【議案】 第４号　三原市教育委員会条件付採用職員勤務成績評定実施規程の廃止について 第５号　平成 29 年第１回市議会定例会に提出する教育委員会関係予算及び議案に対する意見聴取について 第６号　三原市教育委員会委員の辞職の同意について 第７号　三原市教育委員会委員長職務代理者の指定について 【報告事項】 第４号　三原市教育委員会職員（臨時職員）の任用に係る臨時代理の承認について 第５号　県費負担教職員の任免及び懲戒その他の進退に係る内申の承認について
３月 15 日(水) （定例）	【議案】 第８号　平成 29 年度の奨学生の決定について 第９号　学校医，学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について 第 10 号　平成 29 年度三原市立小中学校の学校評議員の委嘱について 第 11 号　三原市老人大学学長の委嘱について 第 12 号　三原市スポーツ推進委員の委嘱について 第 13 号　三原市臨時職員取扱規程の一部改正について 第 14 号　三原市歴史民俗資料館等設置及び管理条例施行規則の一部改正について 第 15 号　三原市教育委員会委員の辞職の同意について 【報告事項】 第６号　県費負担教職員の任免及び懲戒その他の進退に係る内申の承認について 第７号　三原市教育委員会職員（臨時職員）の任用に係る臨時代理の承認について
３月 23 日(木) （臨時）	【議案】 第 16 号　三原市立学校管理規則の一部改正について 第 17 号　三原市教育委員会事務局の人事について 【報告事項】 第８号　三原市立学校長に対する事務委任規程の一部改正について

２．条例・規則・訓令の制定状況

（１）条例　　平成２８年度に制定された条例は４件

条　　例　　名	公布年月日	施行年月日
三原城跡歴史公園設置及び管理条例	H28.12.28	H29. 2. 4
三原市歴史民俗資料館等設置及び管理条例の一部を改正する条例	H29. 2.27	H29. 4. 1

三原市公民館設置及び管理条例及び三原市コミュニティセンター設置及び管理条例の一部を改正する条例	H29. 2.27	H29. 4. 1
三原市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	H29. 2.27	H29. 4. 1

（２）規則　　平成２８年度に制定された規則は１１件

規　　則　　名	公布年月日	施行年月日
三原リージョンプラザ設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則	H28. 4.20	H28. 4.20
三原市勤労青少年ホーム運営委員会規則を廃止する規則	H28. 4.20	H28. 4.20
三原市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則	H28. 4.20	H28. 4.20
三原市教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則	H28. 4.20	H28. 4.20
三原市立幼稚園授業料徴収条例施行規則の一部改正について	H28. 3.31	H28. 4. 1
三原市立図書館設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則	H28. 7.20	H28. 8. 1
三原市立図書館設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則	H28. 8.31	H28. 9. 1
三原城跡歴史公園設置及び管理条例施行規則	H29. 1.18	H29. 2. 4
三原市立幼稚園職員勤務成績評定に関する規則を廃止する規則	H29. 1.18	H29. 3.22
三原市歴史民俗資料館等設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則	H29. 3.15	H29. 4. 1
三原市立学校管理規則の一部を改正する規則	H29. 3.23	H29. 4. 1

（３）訓令等　　平成２８年度に制定された訓令等は６件

訓　　令　　名	公布年月日	施行年月日
三原市臨時職員取扱規程の一部を改正する訓令	H28. 4. 1	H28. 4. 1
三原市臨時職員取扱規程の一部を改正する訓令	H28. 6. 1	H28. 6. 1
三原市教育委員会職員人事評価規程	H28. 1.11	H29. 2. 1
三原市教育委員会条件付採用職員勤務成績評定実施規程を廃止する訓令	H29. 2.15	H29. 2.15
三原市臨時職員取扱規程の一部を改正する訓令	H29. 3.15	H29. 4. 1
三原市立学校長に対する事務委任規程の一部を改正する訓令	H29. 3.23	H29. 4. 1

３．外部の会議・研修会等への参加の状況

教育委員は，全国または県規模の教育委員会で構成する団体の会議や研修会に出席し，他市町教育委員との情報交換や研鑽に努めている。

【平成２８年度　会議・研修会等の参加状況】

開催日	場　所	研　修　会　等　名	出　席　者
4 月 13 日	広島市	第１回広島県市町教育長会議	教育長
4 月 18 日	福山市	広島県都市教育長会春の総会	教育長

5月18日 ～20日	徳島県	第68回全国都市教育長協議会定期総会・研究大会	教育長
5月31日	広島市	広島県市町教育委員会連合会定期総会	教育委員１人
7月11日	広島市	広島県女性教育委員グループ総会・第１回研修会	教育委員１人
10月25日	広島市	広島県市町教育委員会教育委員研修会	教育委員３人
11月17日 ～18日	高知市	市町村教育委員会研究協議会（第２ブロック）	教育長
2月 3日	広島市	第２回広島県市町教育長会議	教育長

４．　学校行事等への参加の状況

（１）学校訪問

教育委員は，市立小・中学校及び幼稚園のうち，今年度の新任や転任となった校長・園長の学校・園を中心に，学校訪問を実施している。

学校訪問では，校（園）長から学校の概要や課題，教育方針について説明を受け，実際に授業参観や施設の状況確認により，教育活動に関して助言等を行っている。平成２８年度は，１幼稚園，３小学校，２中学校を訪問した。

【訪問した学校】

訪問日	訪問した学校名
7月 6日	第五中学校，本郷中学校
7月 7日	西幼稚園，西小学校，南小学校，沼田東小学校

（２）教育研究会の視察

本市の重点事業である「三原市教育創造プラン事業」の一環で，市立小・中学校及び幼稚園で，研究授業を公開する教育研究会に教育委員が訪問し，研究授業の成果や授業を視察した。

【視察した教育研究会】　※開催日順

学校名	開催日	訪問した委員の数（人）
鷺浦小	9月 27日	2
本郷中	10月 3日	2
本郷小	10月 6日	1
三原小	10月 7日	2
幸崎小	10月 7日	1
宮浦中	10月 12日	2
深小	10月 14日	2
久井小	10月 18日	4
久井中	10月 18日	4
本郷西小	10月 19日	4
中之町小	10月 25日	1
本郷幼	10月 26日	4

学校名	開催日	訪問した委員の数（人）
糸崎小	10月 28日	3
幸崎中	11月 18日	1
南小	11月 24日	4
沼田西小	11月 25日	2
沼田西幼	11月 25日	1
第二中	11月 25日	2
小泉小	12月 1日	1
本郷小	1月 25日	1
宮浦中	1月 25日	1
沼田東小	1月 27日	3
西小	2月 8日	2

（３）学校行事等への出席

入学式，卒業式に参列し教育委員会の告辞を述べるほか，運動会などの各種学校行事へ出席するなど，各学校・園の実際の教育活動を参観するとともに，児童生徒の成長の様子を確認し，今後の教育施策の充実・改善に活かしている。このほか，各種市並びに教育委員会主催行事などへの参加や関係機関との連携など幅広く活動している。

	学校行事への出席	主催行事への出席	その他
４月	・市内幼・小・中学校入学（園）式 ・本郷西小学校開校式	・老人大学入学式 ・大人への入門式 ・幼・小・中学校（園）長会議	
５月	・市内小学校運動会		・三原ＰＴＡ連合会総会
６月	・市内小学校運動会		
７月		・青少年健全育成大会 ・三原市中学校吹奏楽フェスティバル ・市民講座（達川光男氏）	・総合教育会議
８月		・少年少女海外派遣研修報告会	・全国学校弓道指導者研究協議会 ・全日本教職員弓道選手権大会
９月	・市内中学校体育祭		
10 月		・市民体育大会 ・三原市立小学校陸上記録会 ・三原教育「希望と未来」フォーラム	・三原市ＰＴＡ連合会研究大会 ・動物愛護ポスター表彰式 ・広島県国公立幼稚園・こども園連盟教育研究大会
11 月		・白竜湖ふれあいグリーンマラソン ・みはら神楽公演 ・「みはら歴史館」開館式	
12 月	・本郷幼稚園表現発表会		
１月		・新成人のつどい	
２月		・瀬戸内三原　築城 450 年事業オープニングセレモニー ・三原城跡歴史公園　完成式典	
３月	・市内幼・小・中学校卒業（園）式	・老人大学修了式	

５．市民への情報提供の状況

教育委員会では，教育にかかわる制度や手続きなどを情報提供するとともに，教育委員会の各種行事の案内など，様々な情報を提供している。

平成２８年度は，次のような情報提供を行った。

（１）三原市広報による情報提供

教育委員会が主催する行事や必要な手続きなどに関する情報を，「広報みはら」を通じて情報提供している。

※ 平成２８年度の教育委員会関係の掲載記事数　１５４件

【平成２８年度の教育委員会寄稿による月別の掲載記事数】　（単位：件）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
掲　載 記事数	13	14	11	10	11	13	13	18	7	10	13	21

（２）ホームページによる情報提供

教育委員会の専用ホームページを開設し，新規事業や多彩な行事などに関する情報を提供している。

※ 各課により随時更新

（３）教育委員会だよりの刊行

毎年，年度末の３月に，教育委員会だよりを発行し，該当年度の教育委員会における主要事業を抜粋して掲載するとともに，翌年度に予定している主な教育関連の行事の情報提供を行っている。

新聞折込などにより配布し，より多くの市民に情報提供している。

※ 平成２８年度の発行部数　41,000 部（仕様：Ａ３版両面印刷２つ折り（Ａ４版４ページ））

（４）教育要覧「三原市の教育」の作成

三原市教育振興基本計画に基づき，新年度の教育委員会全体の施策・事業や施設等に関する概要をまとめた教育要覧「三原市の教育」を年度初めに作成している。

各学校や教育関係機関，市議会議員に配布するほか，他の自治体からの視察の説明資料として活用する等，教育委員会事業について広く情報提供している。

※ 平成２８年度の作成部数　250 部（仕様：Ａ４版５１ページ）

Ⅳ　教育委員会事務局各課が実施した事務の管理及び執行状況の点検・評価

三原市教育振興基本計画で示す中期的な施策・事業の具体的内容及び数値目標等について，点検・評価を行った。

点検・評価の対象となる事業は，同計画に掲げる事業及び平成２８年度の教育委員会事務局における重点事業とし，それぞれ便宜的に事業番号を付している。

評価・点検シート	施策・事業名	教育創造プラン推進事業（学力向上）	主要事業1
三原市教育振興計画 掲載ページ	4	所管課	学校教育課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－1	教育	
施策の枠	2－1－1	学校教育の充実	

内容

〔全体事業概要〕
・各校のめざす教育内容の創造に向けた実践的な教育研究を推進する。また，各種学力調査を実施し，その結果分析及び改善に取り組み，授業改善及び児童生徒の学力の定着・向上を図る。

〔当年度事業概要〕
・市内全小・中学校を対象に，標準学力調査を実施する。
・各種学力調査結果の分析を実施する。

取組状況

・子供達の確かな学力の向上を図るため，児童生徒の学力実態を的確に把握するとともに，結果分析を通して指導方法の工夫改善に努めた。

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度 目標値	本年度 自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
90.6%	85%	82%	A順調					
児童生徒の学力定着状況（標準学力調査の結果，各学校の平均が全国平均を上回る割合）				93.8%	96.7%	—	—	—

成果・課題

（成果）
・全校で改善計画を策定し，学力の向上に向けて組織的な取組が促進された。
・各学校で平成27年度の標準学力調査の結果及び平成28年度の小５と中２対象の「基礎・基本」定着状況調査結果や誤答分析をもとに，改善計画を立て，計画的な授業改善の取組を行った。その結果，平成28年度の標準学力調査では，多くの学年，教科で全国平均を上回っており，概ね学力が定着しているといえる。特に，基礎的・基本的な知識・技能の習得に大きな改善が見られた。
（課題）
・取組の質を向上させるために，PDCAサイクルに基づき，全学年を対象とする「標準学力調査」を軸に，次の標準学力調査までの１年間を１つのサイクルとしてとらえて取り組む。具体的には，「標準学力調査」で明らかになった課題が改善されているかを「全国学力・学習状況調査」「基礎・基本」定着状況調査で検証し，取組の効果を確かめながら，計画の見直し，改善を加え，次の標準学力調査を迎える等，重点課題について計画的，継続的に取り組む必要がある。

今後の取組

・４月全国学力・学習状況調査，６月「基礎・基本」定着状況調査，12，１月標準学力調査を軸に，検証，改善策の実行，次の調査による検証という一連のPDCAサイクルを行い，学力向上を図る。
〇次年度目標値：90%

評価・点検シート	施策・事業名	教育創造プラン推進事業（体力向上）	主要事業2

三原市教育振興計画 掲載ページ	4	所管課	学校教育課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－1	教育	
施策の枠	2－1－1	学校教育の充実	

内容

〔全体事業概要〕
・体力・運動能力テストを実施し，結果分析及び改善を推進し，児童生徒の体力・運動能力の向上を図る。

〔当年度事業概要〕
・市内全小・中学校を対象に，体力・運動能力テストを実施した。
・結果の分析及び体力づくり改善計画を作成する。

取組状況

・４月下旬から５月末までに市内全小・中学校を対象に，体力・運動能力テストを実施した。
・７月末までに各校において結果の分析及び体力づくり改善計画を作成し体力・運動能力の向上に取り組んだ。

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度 目標値	本年度 自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
73.6%	80%	78%	A順調					
児童生徒の体力・運動能力状況（体力・運動能力の結果，市の平均が県を上回る種目の割合）				70.8%	84.7%	—	—	—

成果・課題

（成果）
・全校で体力つくり改善計画を策定し，体力・運動能力の向上に向けて組織的な取組が促進された。

（課題）
・年々，改善しているが，小中学校ともに筋力，柔軟性が継続的な課題として残っている。

今後の取組

・引き続き，各学校の体力づくり改善計画に基づき，改善が必要な種目に対する取組を推進させる。
・三原市陸上競技指導員派遣事業を引き続き活用し，教職員の指導力向上及び児童生徒の運動能力向上を図る。
・休憩時間を活用した体力向上の取組や学校の遊具，体育器具等の有効な活用方法，学校資源・環境の活用方法等の好事例についての共有化を図る。
〇次年度目標値：84%

評価・点検シート	施策・事業名	わが校自慢支援事業	主要事業3
三原市教育振興計画 掲載ページ	4	所管課	学校教育課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－1	教育	
施策の枠	2－1－1	学校教育の充実	

内容

〔全体事業概要〕

・子供の自己肯定感を高め，豊かな人間性を育むために，地域や子供の実態に即した魅力ある教育活動を積極的に推進する学校を支援する。

〔当年度事業概要〕

・支援を希望する各校のプレゼンを通して，指定校を決定し，その教育活動の推進に係る経費を支援する。

取組状況

・次の学校の取組を支援した。
- ・三原小学校　鼓笛（50年以上の伝統ある鼓笛隊を継承）
- ・田野浦小学校　ビーチボールバレー
- ・深小学校　全校合唱（児童の自信向上・三原教育「希望と未来フォーラム」出場）
- ・南小学校　吹奏楽（児童の愛校心や愛郷心の向上）
- ・沼田小学校　ちんこんかん（地域の伝統行事の継承）
- ・幸崎小学校　和太鼓・合唱（地域の特色を生かした合唱や演奏）
- ・鷺浦小学校　英会話能力の育成（地域の良さの発信・異文化交流）
- ・本郷小学校　小早川隆景学習（郷土愛・愛校心の高まり）
- ・第二中学校　防災教育（防災意識向上）
- ・第五中学校　音楽部（マーチング）
- ・宮浦中学校　吹奏楽（さつき祭り・やっさ祭りなどへの出場）
- ・久井小・中学校　環境教育・ボランティア活動（ヒョウモンモドキの保護活動）
- ・大和中学校　菊の栽培（福祉施設等への寄贈等地域とのつながりを深める取組）

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度目標値	本年度自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
78.4% 73.5%	85% 75%	81% 73%	A順調					
夢や希望を持つ児童生徒の割合 自己肯定感を持つ児童生徒の割合				79.7% 72.3%	79.9% 75.5%	—	—	—

成果・課題

（成果）

・小学校９校，中学校５校を指定校とし，地域講師等の活用を通し，地域の伝統や自然を守ろうとする児童生徒の意欲を高めることができた。

・地域行事へ積極的に参加し，地域から肯定的評価を受けることで児童生徒の自己肯定感を高めることや所属校に対する誇りを持たせることができた。

・学習を通じて，児童生徒は，地域の特色を知り，郷土愛を深めることができた。

（課題）

・学校の申請希望に応えるだけの予算確保が難しい。

今後の取組

・希望する学校数が多いが，十分な予算確保が難しいため，指定校数を絞り，その教育活動の推進に係る経費の配分を工夫しながら，引き続き支援する。

〇次年度目標値：夢や希望を持つ児童生徒の割合　81%

〇次年度目標値：自己肯定感を持つ児童生徒の割合　75%

評価・点検シート	施策・事業名	グローバル社会をたくましく生きる力の育成（英語検定受験の検定料補助等（中学校3年生対象）） 主要事業4

三原市教育振興計画 掲載ページ	4	所管課	学校教育課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－1	教育	
施策の枠	2－1－1	学校教育の充実	

内容

〔全体事業概要〕
・中学生に実用英語技能検定（英検）の資格取得を通して，英語の基礎学力を高めると共に，異文化を理解して世界を舞台に活躍でき，さらに本市の将来を担う「グローバル社会をたくましく生きる力を身につけた人材育成」を行う。

〔当年度事業概要〕
・中学校３年生を対象に英検受験に係る検定料の補助を実施。

取組状況

・中学３年生で英検３級取得を目標とし,希望する保護者に対して，1年度あたり１回を限度として検定料の４，５級は半額，３級は全額（上限は３級額）を補助し，中学生の英語力向上につなげることができた。
・中学校第3学年７３８人中，申請者数は２２２人。（申請率３０%，補助金執行額６１１，５００円）

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度 目標値	本年度 自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
29.6%	40%	30%	Ｂやや遅れ					
中学３年生の英語検定３級以上の取得率（中学３年生の英語検定３級以上の合格者の割合）				26.6%	21.7%	—	—	—

成果・課題

（成果）
・中学卒業時までに英検３級取得を目標とすることにより,生徒の英語の学習意欲が高まるとともに,指導者が目指すゴールを持ち指導に取り組むことができた。
（課題）
・国全体の結果と同様に三原市においても成果が十分ではない。研修の内容や教材の活用方法の工夫等，より効果的に行う必要がある。

今後の取組

・英語教員研修において,英検対策及び事業説明を実施し,受験の啓発をする。
・申請者（受験者）の増加へ向けて,保護者へ情報発信する。
・小学校の外国語・外国語活動の実施を踏まえ，小中の接続を意識した授業改善に取り組む。
〇次年度目標値：30%

評価・点検シート	施策・事業名	学校給食事業	主要事業5
三原市教育振興計画 掲載ページ	5	所管課	学校給食課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－1	教育	
施策の枠	2－1－1	学校教育の充実	

内容

〔全体事業概要〕
・学校給食における地場産農作物の使用割合向上を図る中で，児童生徒の郷土への関心を深め，旬の野菜等への理解を深めるなど，食育の推進を行う。また，生産者や地域に関する学習機会が増加するなど，教育的効果も期待できる。

〔当年度事業概要〕
・市内の農協，法人，生産組合等と連携し，地場産物の使用割合の向上を図る。

取組状況

・農林水産課が実施する，三原農協及び広島中央農協への運搬経費補助制度を利用し，学校給食での地場産物使用率向上に向け関係部署と連携を図った。また，その他の生産組合等積極的に情報提供を行う等，使用率向上に向け取組を行った。

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度 目標値	本年度 自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
36.3%	60%	45%	Ｂやや遅れ					
学校給食における地場産農作物の使用割合（三原市産野菜等の量/納品する産物の総量）				41%	42%	—	—	—

成果・課題

（成果）
・運搬経費補助制度を引き続き利用し，地場産農産物の使用割合の向上に取り組んだ。天候不良による野菜の収穫減少により，西部・北部共同調理場の地場産率は下がったが，東部共同調理場の地場産率は上ったため，今年度の目標値に近づけることができた。
（課題）
・給食だよりや給食指導を通して地場産農産物を活用し，食育の向上を図ったが，学校と生産者を結びつける学習機会を増やしていく必要がある。また，天候不良時の収穫量減少の場合の対応が課題である。

今後の取組

・地場産物使用率向上を図るため，農林水産課と連携し，各農協，法人，生産組合等に対し，より積極的な働きかけを行う。
・年間を通して納入可能な野菜の具体的検討を行う。
・献立や生産スケジュールの調整をきめ細かく行う。
・学校と生産者を結びつける手段について，近隣他市町の取組を参考にしながら，食育の向上を図る。
〇次年度目標値：50%

評価・点検シート	政策・事業名	カウンセリング・相談活動事業	その他1
三原市教育振興計画 掲載ページ	4	所管課	学校教育課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－1	教育	
施策の枠	2－1－1	学校教育の充実	

内容

〔全体事業概要〕

学校での暴力行為，いじめや不登校等の児童生徒の問題行動について，早期発見・早期解決を図るため，児童生徒の心にゆとりを持たせ，問題行動を未然に防ぐことを目的として，スクールカウンセラー・心の教室相談員を配置する。

〔当年度事業概要〕

※全体事業概要と同様。

取組状況

・スクールカウンセラー（県費）
　市内４小学校と９中学校の計13校に配置
　相談件数　1,792件
・心の教室相談員（市費）
　市内３小学校と７中学校の計10校に配置
　相談件数　小学校1,759件　　中学校3,600件

事業指標（独自）

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度目標値	本年度自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
暴 5.8% い 5.1% 不 2.1%	前年度発生率半減	暴 2.75% い 1.25% 不 0.9%	Ｂやや遅れ					
暴力行為・いじめ・不登校の発生率				暴 4.9% い 3.1% 不 1.5%	暴 7.1% い 7.4% 不 1.6%	―	―	―

成果・課題

（成果）
・生徒指導規程に基づいた指導体制が整いつつあり，どの学校も概ね落ち着いた学校運営ができた。
・組織的な体制作りにより，いじめの早期発見・早期対応ができた。
（課題）
・特定の児童生徒が暴力行為を繰り返すなど生徒指導上の課題があり，組織的な生徒指導体制の充実をより一層図る必要がある。
・特別に支援が必要な児童生徒に対するの適切な対応をより一層充実させる必要がある。
・児童生徒の自治的活動につなげる集団づくりや学級経営について研修の充実を図る必要がある。
・相談活動について，児童生徒からの相談を待つことに留まっている学校がある。

今後の取組

・次年度に向けて，「集団づくり」「学級経営」「特別支援教育」に関しての研修及び指導を充実させ，学校全体で組織的に取り組む仕組みを構築する。
・受動的な相談活動とあわせ，全児童生徒を対象とした個別面談を計画的に進めるなど積極的な相談活動を展開する。
〇次年度目標値：暴力行為　3.6%，いじめ　3.7%，不登校　0.8%

評価・点検シート	施策・事業名	三原市立小中学校適正配置事業	主要事業6

三原市教育振興計画 掲載ページ	6	所管課	教育振興課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－1	教育	
施策の枠	2－1－2	教育環境の整備・充実	

内容

〔全体事業概要〕

・小中学校における教育環境の充実と学校の活性化を図るため，「三原市立小中学校適正配置基本方針」及び実施計画に基づき，人間力の育成をより可能にするため複式学級の解消を目的として，適正な規模の学校・学級編制の実現に向けた適正配置を実施する。

〔当年度事業概要〕

（本郷地域）

・平成28年４月に統合校の本郷西小学校を開校。引き続き，教育環境,児童の安全安心及び地域交流の充実を図るため,統合後の状況を検証し,より良い学校づくりを支援する。

（木原・糸崎地域）

・平成27年８月に実施した,木原小PTA及び木原小学校区就学前児童世帯への適正配置に関するアンケート調査を基に，木原小学校PTA役員及び保護者全体への説明・意見交換会の実施に向け取り組む。

取組状況

（本郷地域）

・平成28年７月と平成29年１月の２回，児童・保護者・地域を対象に統合後の状況についてアンケート調査を実施した。

・平成28年４月に安全対策会議，７月にはアンケート調査の結果を基に統合検証会議を開催し，教育環境,児童の安全安心,地域交流の充実等について意見交換を行い，統合後の状況，課題等の把握を行った。

（糸崎・木原地域）

・平成27年に木原小PTA及び木原小学校区就学前児童世帯の計41世帯に対し適正配置に関するアンケート調査を実施したが，その後，意見交換等の実施には至っていない。

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度 目標値	本年度 自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
72.7%	100%	100%	Ｂやや遅れ					
複式学級解消率（複式学級解消校/複式学級を有する学校数（11校））				90.9%	90.9%	—	—	—

成果・課題

（本郷地域）

・アンケート調査の実施により，児童・保護者・地域の統合後の状況,意見等を把握することができた。また，アンケートの比較から，初回(７月)に比べ２回目(１月)の回答においては，統合について肯定的な意見が増加するなど，学校生活や学校環境等に対する不安の軽減が伺えた。

・安全対策会議及び統合検証会議において課題として挙げられた，通学時の安全対策，学校施設整備等について，学校・地域と連携を図り，危険箇所へのガードレール設置，教室への網戸の設置を行うなど改善を図った。

（木原・糸崎地域）

・平成27年に実施した適正配置に関するアンケート調査の結果から，保護者の中でも統合に対する意識の違いや，複式学級での教育や少人数の学校環境に対して不安感があることは把握できたが，統合に対する反対意見も多く，継続的な取組が必要である。

今後の取組

（本郷地域）

・本郷西小学校の教育環境，児童の安全安心及び地域交流の充実を図るため，児童・保護者・地域へのアンケート調査を実施し，引き続き，統合後の状況を把握するとともに，学校づくりの支援を行う。

（木原・糸崎地域）

・木原小学校PTA役員及び保護者全体への説明・意見交換会に係る申し入れを行う。

〇次年度目標値：数値設定100％（複式学級解消率）とし，木原・糸崎地域への取組を進める。

評価・点検シート	施策・事業名	三原市幼稚園・保育所等適正配置事業 （第２期三原市幼稚園・保育所等適正配置実施計画）	主要事業7
三原市教育振興計画 掲載ページ	6	所管課	教育振興課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－1	教育	
施策の枠	2－1－2	教育環境の整備・充実	

内容

〔全体事業概要〕
・平成27年３月に策定した「第２期三原市幼稚園・保育所等適正配置実施計画」に基づき，就学前教育の充実を図るため，幼稚園，保育所等の適正配置を進める。
～第２期実施計画の方針～
・実施計画期間は，平成27年度から平成29年度までの３年間とし，適正な教育・保育環境を整えるため，児童数が適正規模を下回る場合は，休廃止を行うこととする。
・幼小連携も視野に入れ，集団活動による教育効果が発揮できる幼稚園の確保を目指し，私立幼稚園との役割分担も踏まえ，適正配置を実施する。

〔当年度事業概要〕
・木原幼稚園の休園（平成27年度～）
・須波幼稚園及び深幼稚園の休園（平成28年度～）

取組状況

・第２期三原市幼稚園・保育所等適正配置実施計画で休園の計画を示した木原幼稚園は，正式な休園決定は行っていないが，実質の休園状態となっている。また，平成28年度の入園予定者が０人と見込まれたため，休園状態が継続した状況となった。
・実施計画に示されていない須波幼稚園及び深幼稚園について，平成28年度の入園予定者が０人と見込まれたため，休園状態となった。
・休園中の園の募集に関する要領を定め，園児募集の手続きを明確にした。

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度 目標値	本年度 自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
―	―	―	A順調					
第２期三原市幼稚園・保育所等適正配置実施計画の進捗				―	―	―	―	―

成果・課題

・木原幼稚園については，平成27年度から，須波幼稚園・深幼稚園については，平成28年度から在籍園児数が０人となり実質の休園状態となっているが，就学前保護者の混乱はなかったと判断している。
・園児数０人による休園状態の園が増えていること，また複式学級の状態が数年間続いている園については，今後策定する「第３期三原市幼稚園・保育所等適正配置実施計画」の中で整理する必要がある。

今後の取組

・集団教育活動が発揮できる幼稚園の確保を行うとともに市内小学校の適正配置との整合性を図る。
・第３期幼保適正配置実施計画の策定に向け，関係課と連携を図る。
〇次年度目標値：幼稚園及び保育所等の適正配置を推進するため，第３期幼保適正配置実施計画の策定（平成30年度策定予定）に向けた準備に着手する。

評価・点検シート	施策・事業名	学校施設耐震化整備事業	主要事業8

三原市教育振興計画 掲載ページ	6	所管課	教育振興課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－1	教育	
施策の枠	2－1－2	教育環境の整備・充実	

内容

〔全体事業概要〕

・学校施設は，児童生徒が一日の大半を過ごす学習の場であるとともに，地域の防災拠点としての役割を担っていることから，教育環境の整備を図るとともに，耐震性能及び防災拠点としての安全性を高めるため，計画的に学校施設の整備を進める。

〔当年度事業概要〕

・学校施設の安全の確保及び施設環境の整備等を行うため，耐震二次診断で耐震性が「著しく低い」，また「低い」と診断された施設の耐震強化を実施するとともに，施設の大規模改修工事を行う。

（耐震二次診断の結果，ＩＳ値0.7未満と診断された施設の耐震補強工事）

改築による耐震化：第三中学校

（繰越した新校舎棟改築工事に併せて，耐震性の無い旧校舎棟の解体工事）

取組状況

・耐震補強整備事業

整備実施校：第三中小学校

事業内容　：新校舎棟新築，専門教室棟改修，クラブハウス棟新築，校舎棟解体

事業指標

実績値 平成27年度	目標値（Ｈ３１）	当年度 目標値	本年度 自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
99.1%(小・中) 100.0%(幼)	—	100%	A順調					
学校施設耐震化率（耐震性のある棟数/全棟数）				99%(小・中) 100%(幼)	100%(小・中) 100%(幼)	—	—	—

成果・課題

・耐震化工事について，小学校施設は平成27年度に完了済み。中学校施設についても，平成28年度で老朽化の進んだ校舎棟解体工事が完了したため，耐震化率は100％となった。

これにより，幼稚園及び小・中学校については，施設の安全性を確保することができた。

今後の取組

・今後は，さらに安全で快適な学習環境づくりに向けて，施設の老朽化への対応と非構造部材の耐震対策等を行うため，小・中学校施設の長寿命化改修工事を計画的に実施する。

評価・点検シート	施策・事業名	学校施設維持修繕事業	主要事業9
三原市教育振興計画 掲載ページ	6	所管課	教育振興課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－1	教育	
施策の枠	2－1－2	教育環境の整備・充実	

内容

〔全体事業概要〕

・市内小中学校の老朽化した施設整備を計画的に実施することにより，安全で快適な学習環境の確保に努める。

〔当年度事業概要〕

・各学校施設の経過年数や改修及び工事等の経過と，現在の状況を的確に把握し，計画的に施設の修繕及び改修工事を行う。

取組状況

・平成28年度においては，次の事業を実施。

・施設維持整備補修事業	沼田西小プール改修工事外	16,898千円
・施設整備事業	沼田東小ｴﾚﾍﾞｰﾀ等整備工事外	105,016千円
・久井小プール整備事業	久井小プール設計業務委託	2,155千円
・大規模改修整備事業	田野浦小・沼田東小校舎等改修工事	466,996千円
・その他小規模修繕等	小・中学校修繕費・原材料費	36,330千円
		合計627,395千円

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度目標値	本年度自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
―	―	―	Ａ順調					
				―	―	―	―	―

成果・課題

・学校施設の修繕及び改修工事を計画的に実施することにより，安全で快適な学習環境を確保することができた。日々発生する施設の不具合を精査しながら，修繕・改修計画の策定に努める必要がある。

今後の取組

・学校施設，設備の老朽化が進行することに伴い，大規模改修や修繕を要する施設が増加している。現在は，耐震化事業が完了し，トイレ改修，プール施設改修を計画的に進めている。今後は，学校運営に支障のでない教育環境を確保するため，老朽化が進む体育館や校舎の長寿命化や修繕計画，エアコン整備の調査・研究を進める。

〇次年度目標値：学校施設長寿命化及び修繕計画及びエアコン整備の調査・研究

評価・点検シート	施策・事業名	学校教材備品整備事業 （理科教育設備整備・情報教育環境整備）	主要事業10
三原市教育振興計画 掲載ページ	6	所管課	学校教育課・教育振興課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－1	教育	
施策の枠	2－1－2	教育環境の整備・充実	

内容

〔全体事業概要〕

・教育効果を高めるため，教材整備指針に基づいた学校教材の整備を進めるとともに，児童・生徒が情報教育に関する学習ができるよう，学校における情報機器の安定的・計画的な整備を進める。

〔当年度事業概要〕

・小中学校では，学力調査の結果から，知識を活用し実験結果を考察する力に課題があるため，理科の授業において実験や観察を十分に行い，理科学力の定着を図ることを目的として，不足または老朽化している理科の設備・備品を充実させる。

・児童・生徒がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段の適切な活用方法を習得できるよう，情報機器を整備（更新）し，情報教育環境の充実を図る。

取組状況

〔理科教育設備整備事業：５か年計画（H27～H31）〕

平成28年度実績

小学校（20校）　2,164,200円

中学校（10校）　3,565,368円

合　計　5,729,568円（国庫補助金：2,784,000円，一般財源：2,945,568円）

〔情報教育機器整備事業〕

学校パソコン機器リース料（1,305台）　18,953,127円

※平成28年度は，教育用ソフトウェア（オフィスソフト）111式を更新

事業指標

実績値 平成26年度	目標値 （Ｈ３１）	当年度 目標値	本年度 自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
―	73.3%	33%	Ａ順調					
理科教材備品整備進捗率 （理科教材備品費充足率）				19.8%	32.9%	―	―	―

成果・課題

〔理科教育設備整備事業〕

・小中学校に理科教育備品を整備することにより，学習指導要領で求められる教育内容の円滑な実施を推進し，理科教育を充実させ，学力の向上を図った。

〔情報教育機器整備事業〕

・「情報基礎」学習の充実を図るため，コンピュータの役割と機能について理解させ，情報を適切に活用する基礎的能力の育成に取り組み，学習指導の効果が高められた。

　現行の整備計画により，パソコン機器及びサーバ機器の更新を行っているが，情報関連機器（電子黒板など）の更新時期の到来時の予算確保が課題となる。

今後の取組

〔理科教育設備整備事業〕

・整備計画に基づき，理科教育設備の更新及び新規整備を行い，理科の観察・実験等の活動を充実させ科学に関する意識を向上させる。

〔情報教育機器整備事業〕

・ＯＳの延長サポート期間満了やパソコン機器等の老朽化に対応した定期的な機器等の更新を継続していく。

・今後の三原市のICT教育推進のため，「ICT機器を用いた授業運営の将来像（めざす姿）」を示し，その実現のための「ICT機器整備計画」を作成する。

○次年度目標値：46.7%（理科教材備品整備進捗率）

評価・点検シート	施策・事業名	青少年教育施設管理運営事業	主要事業11

三原市教育振興計画 掲載ページ	8	所管課	生涯学習課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－1	教育	
政策の枠	2－1－3	青少年の健全育成	

内容

〔全体事業概要〕
・青少年の「学ぶ意欲」を支えるため，学習支援や学習機会・情報・知識を提供する施設として青少年教育施設を適切に管理・運営する。
・青少年教育施設：青年の家【①さぎしま青年の家　②久井青年の家　③サギ・セミナー・センター】④勤労青少年ホーム（平成28年３月末廃止）　⑤宇根山天文台　⑥宇根山家族旅行村

〔当年度事業概要〕
・佐木島の青少年教育施設の拠点とするため，サギ・セミナー・センターの施設整備・調理体制を整える。
・勤労青少年ホームを平成28年３月末に廃止するため，利用者会整理・設置及び管理条例等事務を進める。

取組状況

①さぎしま青年の家：宿泊は平成28年３月末で終了し，サギ・セミナー・センターに宿泊機能を移した。体育館・グラウンドのみ貸し出しを継続。
②久井青年の家：稼働率は低いが，市内外からの団体が宇根山家族旅行村との併用利用もある。
③サギ・セミナー・センター：民間会社から寄附受納した施設で平成26年８月から利用開始。平成28年４月から食事提供を開始し，施設整備・調理体制を整えた。平成28年度は野外体験施設を建設した。
④勤労青少年ホーム：勤労青少年福祉法の一部改正に伴い，平成28年３月末に廃止。ただし，利用者のいる３講座（生花・茶道・ヨーガ）は教養講座として継続。
⑤宇根山天文台：利用者増のために，イベント企画・開催・ＰＲを行う。
⑥宇根山家族旅行村：平成27年６月にデイキャンプ場の建屋３棟のうち１棟が崩壊し，以降利用休止としたが，平成28年６月に建屋を解体後７月から再開。９月末以降再度利用休止して10サイト分の建屋を新設した。また，安全な施設管理運営のため，管理棟外壁改修も実施した。

事業指標

	実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度 目標値	本年度 自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
	21,213人	17,000人	8,000人	A順調					
青少年教育施設の利用者数					22,641人	8,779人	―	―	―

成果・課題

（成果）
・サギ・セミナー・センターは佐木島の地域資源を活かし，充実した体験プログラム実施のため屋外体験施設（キャンプファイヤー場・バーベキュー炉）整備するなどして，利用者が増加した。
（課題）
・今後の公共施設のあり方について検討する中で，各青少年教育施設の在り方を決定していく。
・今後も各施設の設置目的に沿った社会教育の推進を図る施設運営・管理を行うが，老朽化等による施設整備も必要となる。

今後の取組

・サギ・セミナー・センターの管理をシルバー人材センターに委託していたが，管理運営業務を地元の運営協議会に委託し，地域振興，雇用の創設等地域の活性化が期待できる。
・平成28年度に整備した野外調理場に建屋を建築し，衛生上及び施設整備上安全に野外体験活動を実施する。

○次年度目標値：8,000人（青少年教育施設の利用者数）＊平成28年３月末に勤労青少年ホームを廃止し，実績値考慮の上平成29年度の目標値が平成28年度の実績値より低い。

評価・点検シート	施策・事業名	青少年健全育成事業	主要事業12

三原市教育振興計画 掲載ページ	8	所管課	生涯学習課

基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち
政策の柱	2－1	教育
政策の枠	2－1－3	青少年の健全育成

内容

〔全体事業概要〕
・青少年健全育成を図るため，家庭・学校・地域・関係機関が連携して社会全体で青少年を支える仕組みや環境づくりを推進する。

〔当年度事業概要〕
・青少年健全育成大会の開催
・青少年団体活動への助言及び補助金の交付（①青少年育成三原市民会議　②地域コミュニティ助成事業実行委員会　③三原市子ども会連合会）
・新成人のつどい　　・青少年の居場所づくり事業（H28年度事業終了）

取組状況

・青少年健全育成大会の開催（平成28年７月２日）
　参加者：大会・講演会380人
・青少年団体活動への助言及び補助金の交付
　①青少年育成三原市民会議：600千円　②地域コミュニティ助成事業実行委員会：500千円
　③三原市子ども会連合会：250千円
・新成人のつどい（平成29年１月8日）
　該当者916人のうち出席者738人　出席率80.6%
・青少年の居場所づくり事業（毎月第２水曜日リハーサル室を開放）→利用件数低迷のため事業終了

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度目標値	本年度自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
350人	400人	400人	A順調					
青少年健全育成大会参加者数				325人	380人	―	―	―

成果・課題

（成果）
・平成18年度から青少年健全育成大会を開催し，関係団体と啓発活動等を進めてきたが，近年は凶悪な非行事件等は発生していない。
（課題）
・各補助金については，内容を精査し見直しを検討する。
・青少年健全育成に係る関係団体と連携し，関係予算の縮減を図る。
・青少年の居場所づくり事業は利用件数低迷のため事業終了。

今後の取組

・青少年健全育成大会は継続実施するが，関係団体との啓発活動を11月（子供・若者支援強調月間）に実施していることから，街頭パレードを中止し，大会式典（基調報告・メッセージ披露・アピール採択・標語等表彰）と講演会の形式とした。
・青少年の居場所づくり事業をライフスタイルの変化に伴い，青少年のニーズが減少したことから廃止した。今後は関係団体と連携し，ひきこもりやニートの若者を修学・就労等社会生活へ移行するための支援を検討。
○次年度目標値：400人（青少年健全育成大会参加者数）

評価・点検シート	施策・事業名	少年少女海外交流研修事業及び訪日交流事業	主要事業13
三原市教育振興計画 掲載ページ	8	所管課	生涯学習課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－1	教育	
政策の枠	2－1－3	青少年の健全育成	

内容

〔全体事業概要〕
・シンガポールの中学校訪問団を受け入れ，ホームステイや交流事業を実施することで，市内の小・中学生をはじめ市民の国際交流意識の醸成とともに国際理解の深化を図る。
・市内在住の中学２年生14人がシンガポールへの海外派遣研修を実施し，海外の生活・文化・習慣に直接触れることによる，国際感覚の醸成とともに国際理解の深化を図る。

〔当年度事業概要〕
・訪日交流事業：平成28年５月26日～５月30日，シンガポールの中学生14人(男子６人・女子８人)・引率者３人・訪問先：久井小・中学校，筆影山，水辺教室ほか
・海外派遣研修事業：平成28年８月３日～８月９日　市内在住の中学２年生(男子６人・女子８人)・引率者３人・派遣先：シンガポール（独立記念日を祝う学校行事への参加ほか）

取組状況

・シンガポールの訪問団に対する，ホームステイの受け入れ・農業体験・海浜セラピー・学校訪問などにより，国際親善交流の機会を提供し，国際交流を身近なものとして体感することができている。
・海外派遣研修は，10回の事前研修を経てシンガポールで学校訪問・ホームステイ・課外活動等行うことにより国際理解を深めた。

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度 目標値	本年度 自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
14人	14人	14人	A順調					
少年少女海外交流研修事業及び訪日交流事業参加者数				14人	14人	―	―	―

成果・課題

（成果）
・国際交流を行うことで，異国の文化を知り，自国愛・郷土愛を育むことができている。
（課題）
・訪日団の受け入れ時のボランティア・通訳・体験活動等体制づくりが必要である。

今後の取組

・事業継続し，国際感覚を醸成し，将来の三原のまちづくりのリーダーとなるような動機付けや資質養成を図る。
〇次年度目標値：14人（少年少女海外交流研修事業及び訪日交流事業参加者数）

評価・点検シート	施策・事業名	親善都市交流事業	主要事業14

三原市教育振興計画 掲載ページ	8	所管課	生涯学習課

基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち
政策の柱	2－1	教育
政策の枠	2－1－3	青少年の健全育成

内容

〔全体事業概要〕
・市内小学校５・６年生（40人）が昭和51年に親善都市提携をしている神奈川県湯河原町の児童との交流を通して，自分が住むまちを改めて知ることで郷土愛を育む。
・平成８年度から隔年で相互の町を訪問し交流を深めている。

〔当年度事業概要〕
・平成28年度は21回目で８月２日～３日に三原市児童（小学５・６年生40名）が湯河原町を訪問した。

取組状況

・３回の事前学習会を実施し，両市町の歴史的背景の学習・記念品の三原だるま制作・地方及びやっさ踊りの練習を通じて郷土学習を行った。
・８月２日～３日に三原市児童（小学５・６年生40名）が湯河原町を訪問し，湯河やっさへの参加・観光地めぐり・三原市と湯河原町の歴史的つながりの学習等通じて友好親善交流を深めた。

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度 目標値	本年度 自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
小学校88.4% 中学校75%	小学校90% 中学校77%	小学校90% 中学校80%	A順調					
自分が住んでいる地域のことが好きな児童生徒の割合（基礎・基本定着状況調査の児童生徒質問紙）				小学校92% 中学校80.7%	小学校90.8% 中学校85.7%	―	―	―

成果・課題

（成果）
・事前学習会から郷土史学習・地方及びやっさ踊りの練習・他校児童との交流等を通じて郷土愛の醸成につながった。
（課題）
・子供たちを主体とした親善都市交流が21年目を迎え，一定の成果があった。今後の湯河原町との交流のありかたについて検討する。

今後の取組

・平成８年度から子供たちを主体とした親善都市交流が21年目を迎えた。今後産業・経済・文化等交流を深めるため，事業内容の見直し・縮小等を検討する。
〇次年度目標値：小学校91%　中学校86%（自分が住んでいる地域のことが好きな児童生徒の割合）
＊平成31年度目標値を参考照準として次年度目標値を設定した。

評価・点検シート	施策・事業名	放課後子ども教室推進事業	主要事業15
三原市教育振興計画 掲載ページ	8	所管課	生涯学習課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－1	教育	
政策の枠	2－1－3	青少年の健全育成	

内容

〔全体事業概要〕

・小学校の余裕教室等を活用して，放課後児童が安心・安全に過ごせる居場所を確保するとともに，地域住民の参画を得て，児童とともに学習やスポーツ・文化活動・地域住民との交流活動等の取組を推進する。

〔当年度事業概要〕

・実施箇所数：22教室
・登録児童数：903人（全児童数4,415人のうち登録率20.5%）
・利用料　　：無料
・傷害保険　：保護者負担でスポーツ安全保険に加入

取組状況

・実施箇所数：22教室
・実施場所　：小学校内（余裕教室・校庭・体育館等）
・登録児童数：903人（全児童数4,415人のうち登録率20.5%）
・コーディネーター（19人）とスタッフ（411人）を配置

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度 目標値	本年度 自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
22教室	20教室	22教室	A順調					
放課後子ども教室開設数				22教室	22教室	―	―	―

成果・課題

（成果）
・すべての三原市立小学校において放課後子ども教室を実施しており，子供たちが安心して安全に過ごせる居場所となっている。
（課題）
・地域スタッフや学校の空き教室の確保の難しさ等により，対象学年は各子ども教室で異なっている。
・子供達の活動の充実を目指して多分野の技能を有した地域の人材を発掘し，人員を確保する必要がある。

今後の取組

・放課後子ども総合プラン（放課後児童クラブと放課後子ども教室との一体型）実施に向けて，児童クラブと子ども教室が共通のプログラムに参加する体制づくりを進める。
〇次年度目標値：22教室（放課後子ども教室開設数）

評価・点検シート	施策・事業名	青少年指導相談事業	その他2
三原市教育振興計画 掲載ページ	9	所管課	学校教育課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－1	教育	
施策の枠	2－1－3	青少年の健全育成	

内容

〔全体事業概要〕
・心理的要因等により登校できない児童生徒に対して，情緒の安定・集団生活への適応支援，また基礎学力の補充・基本的生活習慣の改善のための相談・適応指導等を行なうことにより，学校復帰や社会的自立を支援する。

〔当年度事業概要〕
・三原リージョンプラザ及び本郷公民館に開設している三原市適応指導教室（三原ふれあい教室）に，青少年指導相談員５人（内１人は本郷公民館），青少年支援相談員計１人（三原リージョンプラザのみ）を配置し，相談活動等を実施する。

取組状況

・三原市適応指導教室（三原リージョンプラザ）
　・青少年指導相談員４人：月～金曜日　9:00～17:45，土曜日　8:30～17:15
　　相談件数　547件
　・青少年支援相談員１人：月・水・金曜日　9:00～17:45
　　相談件数　645件

・三原市適応指導教室（本郷公民館）
　・青少年指導相談員１人：月・水・金曜日　9:00～17:45
　　相談件数　307件

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度目標値	本年度自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
50%	75%	60%	Ｂやや遅れ					
通室生の学校復帰率				55.8%	57.1%	―	―	―

成果・課題

（成果）
・個別の課題に応じたきめ細やかな学習支援が行なわれ，学力補充を図ることができた。
・保護者等の相談を学校や関係機関と情報を共有して取り組むことができた。
・学校復帰の期日を学校とともに設定し，通室児童生徒に目標を持たせるなど，学校復帰を意識した取組となっている。
・学校での集団生活に向けて，野外活動や実習を行い，コミュニケーション力の育成を図った。
（課題）
･通室児童生徒について，所属校との日常的な連携が不十分である。

今後の取組

・学校復帰に向けての定期的な学校連携に加え，配付物の配付や日常的な気付き等についても学校と情報共有し，学校復帰の取組がより効果的になるよう取組を進める。
〇次年度目標値：学校復帰率70%

評価・点検シート	施策・事業名	生涯学習推進事業	主要事業16
三原市教育振興計画 掲載ページ	10	所管課	生涯学習課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－1	生涯学習	
施策の枠	2－2－1	生涯学習の振興	

内容

〔全体事業概要〕
・市民の相互扶助・ボランティア意識の高揚を図り，コミュニティ組織を育成・支援することにより，市民が主体的に参加・運営するコミュニティ活動の活性化を図る。
・市民一人一人が，生涯にわたって「いつでも，どこでも，だれでも」学ぶことができるように，学習支援，指導者やコーディネータの育成・確保等により，生涯学習のシステムづくりを推進する。

〔当年度事業概要〕
・主催講座・教室から自主グループ活動の移行を図り，学んだ成果を地域に広げていける指導者を確保し，自主活動に取り組める人材を増やす。
・市民へ生涯学習の機会を提供する。

取組状況

・主催講座による学習の機会を通じて，学習成果を活かした地域づくりへの貢献に向け，受講者相互による運営能力を養う中で，自主グループへの移行を図った。
・主催講座等により学んだ成果を地域へ広げていける指導者を確保し，指導者登録を行い，市民の学習ニーズに応じた指導者の紹介を行った。
・主催講座受講生を対象とした学習発表会（作品展示・舞台発表等）を行い，学習意欲の向上を図った。
・市民の学習成果の発表の場及び交流の場として生涯学習フェスティバルを行い，学習意欲の向上を図った。
・市民講座（２回），出前講座（実施回数：830回・参加者数：34,741人）を実施した。

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度 目標値	本年度 自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
858団体	900団体	872団体	Ｂやや遅れ					
生涯学習施設の自主グループ登録数（団体）				862団体	818団体	—	—	—

成果・課題

（成果）
・新たに自主グループ化した団体が増えた。
・新たな指導者を育成できた。
（課題）
・高齢者が多い団体の解散等により総数が増えない。
・若い世代の新規利用者が少ない。

今後の取組

・市民ニーズを掘り起こし，ニーズに応じた講座を行い，若い世代の新規利用者を増やすことにより，新規自主グループの増を図る。
・地域のニーズに応じた活動の支援を行う。
〇次年度目標値：850団体（生涯学習施設の自主グループ登録数）

評価・点検シート	施策・事業名	生涯学習施設における活動の推進	主要事業17

三原市教育振興計画 掲載ページ	10	所管課	生涯学習課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－1	生涯学習	
施策の枠	2－2－1	生涯学習の振興	

内容

〔全体事業概要〕
・地域において施設が有効に活用されるよう，施設の点検・整備，運営の支援を行う。
・多様化する学習ニーズへの対応，高齢者社会への対応に向け，老朽化が進む施設設備等の修繕を計画的に実施する。

〔当年度事業概要〕
・社会教育法に基づく公民館運営審議会からの意見を求めるとともに，施設管理業務を委託している各コミュニティセンター・公民館運営委員会と生涯学習相談員とが連携しながら，地域づくりに関する学習活動の機会を提供し，地域活性化に結び付く自主活動運営を支援する。

取組状況

・各施設の修繕を行い，施設の適正運用に努めた。
（中央公民館：受水槽，本郷センター：サロン屋上漏水，大和センター：空調機，糸崎・船木コミセン：空調機，大草公民館：除菌器，全89件）
・施設管理業務を委託している各公民館，コミュニティセンター運営委員会と生涯学習相談員が連携し，学習機会の提供・いつでも利用できる環境づくりを図った。

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度目標値	本年度自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
657,859人	700,000人	655,000人	Ｃ遅れ					
生涯学習施設の年間利用者数（人）				649,121人	479,923人	—	—	—

成果・課題

（成果）
・必要な修繕・整備を行い，各施設の学習環境を整えた。
・多くの分野に関する主催講座を企画し，新たな施設利用者が増えた。
（課題）
・利用者の高齢化により，利用者が減少傾向にある。
・施設の多くが２階建てで，エレベーターが無く，高齢者の利用に支障がある。
・男性の利用者が少ない。
・各施設・機器の老朽化により修繕が増大傾向にある。

今後の取組

・地域の問題の中から社会教育の力で解決できる問題を見定め，学習課題に沿った講座の企画を行う。
・男性が利用したいと思う講座を開催する。
・計画的な施設の整備，修繕を実施する。
〇次年度目標値：550,000人（生涯学習施設の年間利用者数）

評価・点検シート	施策・事業名	図書館管理運営事業	主要事業18
三原市教育振興計画 掲載ページ	10	所管課	生涯学習課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－1	生涯学習	
施策の枠	2－2－1	生涯学習の振興	

内容

〔全体事業概要〕
・図書，記録その他必要な資料を収集，整理，保存して，市民の利用に供し，その教養，調査研究，レクリエーション等に資する。
・市民の多様なニーズに沿った図書資料の収集，貸出，資料紹介，相談を行い生涯学習を支援する。
・市民が利用しやすい図書館の環境整備，運営とともに，情報発信や調査研究に資する機能を充実する。
〔当年度事業概要〕
・利用者の学習ニーズや課題解決に応える図書の充実とともに，レファレンスサービスや図書館の機能強化により，学びの場としての価値を高め，貸出者数，貸出冊数の増加を図る。

取組状況

・利用者からのリクエストに積極的に応え，利用者が求める資料を豊富にバランスよく揃えること，また利用者の課題解決に役立つ資料を取り揃えるなど，資料の提供を的確に行った。
・ブックスタート事業やボランティアによる本の読み語りなどを実施し，幅広い年代層に利用いただける事業の充実を図った。
・図書館システムを安定運用することで，市民が利用しやすい環境整備を図った。

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度 目標値	本年度 自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
6.2冊	7冊	6.5冊	C遅れ					
図書館図書の市民１人当たりの年間貸出冊数				6.0冊	5.7冊	―	―	―

成果・課題

（成果）
・市内４図書館の適正な管理運営を行うことができたが，貸出者数，貸出冊数は前年度を下回った。
（課題）
・中央図書館は開架スペースが２階部分にもあり，エレベーターが無く，高齢者や障がい者の利用に支障がある。
・中央図書館の開架スペースは書架と書架の間隔が狭く，車椅子やベビーカーの利用に支障がある。
・レファレンスサービスや複写サービスのスペースが不足している。

今後の取組

・利用者ニーズを掘り起こし，ニーズに応じた資料選定，サービス，事業等を行い，若い世代の新規利用者を増やす。
・利用案内や事業実施などについて新たな広報を実施する。
・（仮称）駅前中央図書館移転計画を推進する。
〇次年度目標値：6.5冊（図書館図書の市民１人当たりの年間貸出冊数）

評価・点検シート	施策・事業名	生涯学習施設整備事業（久井公民館移転）	その他3

三原市教育振興計画 掲載ページ	10	所管課	生涯学習課

基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち
政策の柱	2－1	生涯学習
施策の枠	2－2－1	生涯学習の振興

内容

〔全体事業概要〕
・老朽化した久井公民館を統合により廃校となった旧久井小学校へ移転する。
・老朽化した久井民俗資料館も旧久井小学校へ移転し，複合施設とする。
・施設の複合化により，施設の魅力アップと有効活用を図る。
・平成27年度改修設計，平成28年度改修工事，平成29年４月開設予定。

〔当年度事業概要〕
・旧久井小学校の整備工事及び移転作業。

取組状況

・建築主体工事
・電気設備工事
・機械設備工事
・工事監理業務委託
・備品運搬，購入

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度 目標値	本年度 自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
―	100%	100%	A順調					
事業進捗率（久井公民館移転事業進捗率）				100%	100%	―	―	―

成果・課題

（成果）
・整備，移転を完了した。

今後の取組

・複合施設（歴史民俗資料館）のメリットを活かした取組の検討・実施。

評価・点検シート	施策・事業名	芸術文化センター管理運営業務	主要事業19

三原市教育振興計画 掲載ページ	12	所管課	文化課

基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち
政策の柱	2－2	文化
施策の枠	2－2－2	文化・芸術の振興

内容

〔全体事業概要〕
・三原市芸術文化センター「ポポロ」を芸術文化の発信拠点として，また，地域に根ざした芸術文化の活動拠点として，市民にさらに親しまれるよう運営する。

〔当年度事業概要〕
・芸術文化センター運営業務委託を実施する。

取組状況

・指定管理者との毎月の連絡調整会議を実施した。
・指定管理者の管理運営に関することを審議するため芸術文化センター運営協議会の開催した。（4回/年）

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度 目標値	本年度 自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
78,082人	100,000人	85,000人	A順調					
ポポロ利用延べ人数				81,427人	92,838人	—	—	—

成果・課題

（成果）
・来場者の三原駅から施設までのアクセスが良くないため，ホールで行う主催事業開催の終演後に，三原駅までの無料シャトルバスを運行し，利便性を向上させた。その後は，利用者が増加の傾向である。
（課題）
・公共ホール運営事業として，多様なニーズに応える事業を実施する。

今後の取組

・多くの市民に施設を利用してもらうため，利用者の利便性の向上，ニーズへの速やかな対応，サービス向上のための方策を検討するとともに，より丁寧な接客により，利用拡大に努める。
○次年度目標値：90,000人（ポポロ利用延べ人数）

評価・点検シート	施策・事業名	企画展覧会	主要事業20

三原市教育振興計画 掲載ページ	12	所管課	文化課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－2	文化	
施策の枠	2－2－2	文化・芸術の振興	

内容

〔全体事業概要〕
・企画展覧会を開催するなど優れた芸術作品を鑑賞できる機会を提供する。

〔当年度事業概要〕
・定期的に企画展覧会等を開催する。

取組状況

・企画展覧会等について次のとおり開催した。
・三原市ゆかりの作家たち　～近年の調査から～　（　743名）
・康屯からのおくりもの　－三原が生んだ画人 秦森康屯の新収蔵作品－（1,801名）
・第4回新県美展（第68回広島県美術展）巡回展　（　631名）

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度 目標値	本年度 自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
93.8%	95%	94%	A順調					
来場者の満足度（来場者アンケートの「とても良い・良い」の割合）				93.8%	91.6%	—	—	—

成果・課題

（成果）
・芸術文化に関心を持つ多くの来場者に鑑賞の場の提供することが出来た。
・身近にある芸術文化に気づくことで，さらに文化に関心を持つ市民が増えるよう機会の充実を図った。
（課題）
・来場者が企画展の内容によって差があるので，多様なニーズに対応する企画展を検討する。

今後の取組

・今後もニーズの高い催しとなるよう企画・展示物の準備等を早い時期から進める。
○次年度目標値：94%（来場者の満足度）

評価・点検シート	施策・事業名	三原市美術展覧会	主要事業21
三原市教育振興計画 掲載ページ	12	所管課	文化課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－2	文化	
施策の枠	2－2－2	文化・芸術の振興	

内容

〔全体事業概要〕
・創作作品を発表する機会を充実させるとともに，芸術文化活動を担う人材の確保と育成を行う。

〔当年度事業概要〕
・第64回三原市美術展覧会を開催する。

取組状況

・三原市美術展覧会の開催。
日時　前期　11月４日(金)～11月９日(水)
　　後期　11月12日(土)～11月17日(木)
場所　三原リージョンプラザ　展示ホール
来場者　1,575名

絵画（日本画）	絵画（油彩画）	絵画（その他）	彫刻	工芸	書（漢字）	書（仮名）	書（その他）	写真	デザイン
6	34	15	3	7	18	13	0	40	4

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度目標値	本年度自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
159点 113名	200点 150名	170点 120名	Ｂやや遅れ					
出展作品数・一般出品者数（市美展への市民の出品の状況）				151点 106名	140点 97名	—	—	—

成果・課題

（成果）
・広く市民から美術作品を公募し，身近な作品を鑑賞する機会を供することで，文化振興に寄与した。
（課題）
・過去に実績のない作家作品の出品を増加させる。
・出展作品数及び一般出品者数は，年々減少している。

今後の取組

・出展作品数及び一般出品者数を増加させるためには，更に展覧会の知名度をアップさせ，また募集方法の検討や，絵画教室等へ出品依頼も検討する必要がある。
・出品者及び来場者が，芸術に対する豊かな感性を磨き，創造性豊かな人間形成がなされるように，文化活動の充実と支援を検討する。
〇次年度目標値：180点（出展作品数）・130名（一般出品者数）

評価・点検シート	施策・事業名	天然記念物の保存・公開（沼田西エヒメアヤメ）	主要事業22

三原市教育振興計画 掲載ページ	14	所管課	文化課

基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち
政策の柱	2－2	文化
施策の枠	2－2－3	歴史・文化財を活かしたまちづくり

内容

〔全体事業概要〕
・草刈等の実施や管理作業道の整備により国天然記念物エヒメアヤメの保護に努めるとともに，開花期の一般公開を通じた啓発活動を実施する。

〔当年度事業概要〕
・一般公開　　平成28年４月９日（土）～４月24日（日）（予定）
・個体数調査　実施予定
・下 刈 り　　平成28年８月，平成29年２月（予定）

取組状況

・一般公開　　平成28年４月９日（土）～４月24日（日）
・個体数調査　実施
・下 刈 り　　平成28年８月21日（日），平成29年２月26日（日）

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度 目標値	本年度 自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
1,352個 1,711人	1,500個 2,000人	1,410個 1,820人	A順調					
個体数・見学者数 （エヒメアヤメの自生株個体数・一般公開時の見学者数）				未実施 1,314人	1,358個 1,302人	—	—	—

成果・課題

・個体数調査　　1,358個
・見学者数　　1,302人
（成果）
・平成28年度の個体数は1,358個で，個体数を維持し続けている。
（課題）
・調査は，花（４月）・果実（５月）・葉（11月）の年３回実施しているが，調査人員の確保が難しい。そのため，毎年ではなく２年に１回行ったり，地元の保存会に依頼する方法も考える必要がでてくる。
・見学者数は，昨年度とほぼ同数だが年々減少傾向にあるため，見学者数の増加を目指したい。

今後の取組

・開花時期に適した一般公開の実施。
・開花状況の周知による入場者数増に向けた取組。
・個体数調査については，未定。
〇次年度目標値：1,760人（見学者数）

評価・点検シート	施策・事業名	小早川氏城跡保存整備事業	主要事業23
三原市教育振興計画 掲載ページ	14	所管課	文化課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－2	文化	
施策の枠	2－2－3	歴史・文化財を活かしたまちづくり	

内容

〔全体事業概要〕
・三原城跡の整備予定地公有地化，史跡整備及び高山城跡，新高山城跡の史跡整備
・三原城跡の整備報告書の作成及び周辺整備の推進

〔当年度事業概要〕
・三原城跡保存整備委員会を開催する。
・史跡小早川氏城跡（三原城跡）保存整備工事を実施し，整備報告書を作成した。
・整備地周辺を『三原城跡歴史公園』とし，設置及び管理条例を制定した。

取組状況

・三原城跡保存整備委員会開催
　第１回　平成28年11月９日　　第２回　平成29年２月４日（完成確認等）
・史跡小早川氏城跡（三原城跡）保存整備工事（造園工事）
　契約相手方　㈱中博建設
　契約金額　　120,033,360円
・史跡小早川氏城跡（三原城跡）保存整備工事（舗装工事）
　契約相手方　菅建設㈱
　契約金額　　28,774,440円
・史跡小早川氏城跡（三原城跡）保存整備工事（電気工事）
　契約相手方　フルミヤ電業
　契約金額　　29,052,000円

事業指標

実績値 平成27年度	目標値（Ｈ３１）	当年度 目標値	本年度 自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
82.2%	100%	98%	A順調					
事業進捗率（事業費ベースの進捗率）				82.2%	100%	―	―	―

成果・課題

（成果）
・三原城跡天主台濠周辺整備事業は工事完了。平成29年２月４日に完成式典を実施した。
・整備報告書の刊行を行った。
（課題）
・今後の整備計画を再検討する必要がある。

今後の取組

・平成28年度に三原城跡天主台濠周辺整備が完了したため，平成30年度以降は，高山城跡，新高山城跡，船入櫓へのトイレ設置等に取り組む。

評価・点検シート	施策・事業名	記念物保存活用事業	主要事業24

三原市教育振興計画 掲載ページ	14	所管課	文化課

基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち
政策の柱	2－2	文化
施策の枠	2－2－3	歴史・文化財を活かしたまちづくり

内容

〔全体事業概要〕
・史跡の公有化・保全整備と，天然記念物の保存管理・活用計画を推進する。
・三原市文化財保護条例に基づき，重要な文化財の指定，選定，登録を行うとともに，公開・活用を図る。

〔当年度事業概要〕
・久井の岩海保存活用計画策定委員会を開催し，計画策定を推進する。
・三原市指定文化財の指定に向けた文化財保護審議会を開催する。

取組状況

・久井の岩海保存活用計画策定委員会
　第１回　平成28年６月16日
　第２回　平成28年12月５日
　第３回　平成29年３月20日
・文化財保護審議会
　第１回　平成29年３月29日

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度目標値	本年度自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
0% 197件	100% 210件	57% 203件	Ｂやや遅れ					
事業進捗率，文化財指定件数（久井岩海保存活用計画の策定に向けた事業進捗率・文化財の指定件数）				26% 201件	57% 201件	—	—	—

成果・課題

・三原市指定文化財
　平成28年度は文化財の指定・解除なし
（成果）
・平成27年度末に完成した『三原市の文化財』図録の販売を行い，広く三原市の文化財を周知し，市民に郷土の文化財への意識の向上に寄与した。
（課題）
・市内の未指定文化財の悉皆調査を行い，指定候補のリストを作成する必要がある。

今後の取組

・引き続き重要な文化財の情報収集に努め，文化財の指定，選定，登録に向けた取組を行う。
〇次年度目標値：100%（久井岩海保存活用計画の策定に向けた事業進捗率）・203件（文化財の指定件数）

評価・点検シート	施策・事業名	歴史民俗資料館の管理・運営	主要事業25

三原市教育振興計画 掲載ページ	14	所管課	文化課

基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち
政策の柱	2－2	文化
施策の枠	2－2－3	歴史・文化財を活かしたまちづくり

内容

〔全体事業概要〕
・所蔵及び新規寄贈資料の保存・管理・活用・調査，展示の充実とともに，特別展を開催する。
・久井歴史民俗資料館を，旧久井小学校に移転・整備する。

〔当年度事業概要〕
・三原市歴史民俗資料館
　ミニ企画展開催
・久井歴史民俗資料館
　改修工事等の実施，久井歴史民俗資料館展示企画委員会の開催

取組状況

・ミニ企画展の開催

第５回私たちのやっさ踊り展	８月５日(金)～８月21日(日)	入場者数　342人
ちょっと昔の人々のくらし	９月１日(木)～10月４日(火)	入場者数　722人
小早川隆景の軌跡をたどる －新高山城を中心に－	10月７日(金)～12月７日(水)	入場者数1,246人
企業城下町の三原 －おじいちゃん，おばあちゃんの青春時代－	12月13日(火)～１月29日(日)	入場者数　996人
古写真と民具・玩具から見る暮らしと遊び	２月１日(水)～３月26日(日)	入場者数1,373人

事業指標

実績値 平成26年度	目標値 (Ｈ３１)	当年度 目標値	本年度 自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
10,812人	20,000人	15,800人	Ｂやや遅れ					
入館者数，事業進捗率 (歴史民俗資料館への入場者数)				14,519人	7,242人	—	—	—

成果・課題

（成果）
・三原市歴史民俗資料館では，学芸員が不在であり，上半期のミニ企画展や講座等が十分に開催できなかったため，入館者数が減少した。また，久井歴史民俗資料館では，移転に向けての工事や，新資料館へ所蔵資料の搬入をした。
（課題）
・三原市歴史民俗資料館は，老朽化により改修の検討が必要である。また，久井歴史民俗資料館は，移転事業が完了したので，資料館の周知と，利用促進の必要がある。

今後の取組

・企画展のテーマを設定し，三原では年間４回，久井では年間２回程度開催し，入場者数の増加を図る。
○次年度の目標値：10,000人（三原市歴史民俗資料館への入館者数）
　　：　2,000人（久井歴史民俗資料館への入館者数）

評価・点検シート	施策・事業名	歴史・文化財ボランティア育成事業	主要事業26

三原市教育振興計画 掲載ページ	14	所管課	文化課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－2	文化	
施策の枠	2－2－3	歴史・文化財を活かしたまちづくり	

内容

〔全体事業概要〕
・市民学芸員養成講座・実践講座を開催し，歴史・文化財ボランティアを育成する。

〔当年度事業概要〕
・市民学芸員実践講座を開催する。

取組状況

・市民学芸員実践講座の開催状況。
第１回　平成28年５月29日（日）
第２回　平成28年９月４日（日）
第３回　平成28年10月９日（日）
第４回　平成28年11月19日（土）
第５回　平成29年１月22日（日）

事業指標

実績値 平成26年度	目標値 (H29)	当年度 目標値	本年度 自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
10回/年 46人修了	10回/年 50人修了	10回/年 50人修了	A順調					
講座開催数・修了者数 (市民学芸員養成講座の開催回数・講座修了者数)				8回/年 59人修了	5回/年 53人修了	—	—	—

成果・課題

（成果）
・市民学芸員実践講座を開催し，多くの市民参加を得た。
（課題）
・受講生の高齢化及び固定化が進んでいる。

今後の取組

・新たな受講生の掘り起こしを行うとともに，歴史・文化財ボランティア育成の目標年度を平成29年度として，育成に取り組む。
〇次年度の目標値：10回/年（講座開催数）・50人修了（講座修了者数）

評価・点検シート	施策・事業名	小早川隆景ものがたり事業（講演会事業，映像作成事業）	その他4

三原市教育振興計画 掲載ページ	14	所管課	文化課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－2	文化	
施策の枠	2－2－3	歴史・文化財を活かしたまちづくり	

内容

〔全体事業概要〕

・小早川隆景公が，永禄10年（1567）に三原城を築き450年にあたる平成29年に向け，平成27年度から３ヵ年，小早川隆景ものがたり講演会を開催する。
・小早川隆景公の生涯を紹介する映像資料を平成27年度から２ヵ年かけて作成する。

〔当年度事業概要〕

・小早川隆景ものがたり講演会を実施する。　（第１回～４回）
・小早川隆景映像資料作成事業を推進する。

取組状況

・次のとおり小早川隆景ものがたり講演会を開催した。

会　場　三原リージョンプラザ　文化ホール

第１回	６月12日（日）	講師：広島大学	名誉教授	岸田	裕之
第２回	６月26日（日）	講師：松山大学	教授	山内	護
第３回	８月７日（日）	講師：広島大学総合博物館	学芸職員	佐藤	大規
第４回	８月21日（日）	講師：國學院大學	教授	矢部	健太郎

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度目標値	本年度自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
―	4,200人	1,400人	A順調					
講演会入場者数（小早川隆景ものがたり公演会（年４回）への入場者数）				1,207人	1,270人	―	―	―

成果・課題

・講演会入場者数　1,270人
　第１回　348人
　第２回　314人
　第３回　298人
　第４回　310人
・小早川隆景映像資料作成事業
　平成28年度は，県外の小早川隆景に関する史跡や社寺の撮影を行った。
　作成資料は出前講座等で活用しているが，所有権・著作権から販売やネットでの公開が難しい。

今後の取組

・平成29年度においても，年４回の小早川隆景ものがたり講演会を開催する。
・平成28年度及び29年度実施の小早川隆景ものがたり講演会の記録集を作成する。
○次年度目標値：1,400人（小早川隆景ものがたり講演会（年４回）への入場者数）

評価・点検シート	施策・事業名	スポーツ教室運営事業	主要事業27
三原市教育振興計画 掲載ページ	16	所管課	スポーツ振興課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－2	スポーツ	
施策の枠	2－2－4	スポーツの推進	

内容

〔全体事業概要〕
・市民が継続的にスポーツに親しみながら生涯を通して健康で心豊かな日常生活を送り，スポーツ技術の向上が図れるような環境づくりを促進するため，各種スポーツ教室を開催する。

〔当年度事業概要〕
・8種目46教室について開講する。
　水泳・卓球・バドミントン・ビーチボールバレー・ソフトバレーボール・体操・弓道・太極拳
　ヨーガ
　民間移管：陸上・テニス・ゴルフ
　廃　　止：レクリエーション・ミニバスケットボール

取組状況

・平成28年度スポーツ教室開催状況（1,213人受講）
　（※別紙　平成28年度スポーツ教室開催一覧）

事業指標

実績値 平成18年度	目標値 （Ｈ３１）	当年度 目標値	本年度 自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
40.1%	65%	50%	Ｂやや遅れ					
週に１回以上運動やスポーツを行った市民の割合				未実施	44.6%	―	―	―

成果・課題

（成果）
・市民がスポーツに親しむ場としてスポーツ教室を継続開催し，新たにスポーツを始めるきっかけづくり，健康づくりとともに生涯スポーツの振興に大きな役割を果たした。
（課題）
・定期的にスポーツを行った市民の割合は10年前と比べて約４ポイント増にとどまっており，スポーツを行う市民は，固定化されているものと考えられる。スポーツ教室でもリピータが多くなっており，新規受講者がスポーツを始めやすく魅力ある教室としていくため，アンケート調査等により教室運営を常に見直していく。
・平成30年度から指定管理者へ業務を移管するための検討が必要である。
・スポーツを行った市民の割合を把握するためのアンケート調査の実施に数十万円の費用を要する。

今後の取組

・平成28年度に策定したスポーツ推進計画で平成31年度の目標として指標を達成するための施策を実施する。
・スポーツ教室受講者の利便性を損なうことなく，指定管理者での運営をするための準備を行う。
・指標値の把握には数十万円の費用を要するため，毎年実施するかどうか必要性を検討する。
〇次年度目標値：55%

（※別紙　平成28年度スポーツ教室開催一覧）

教室番号	教室名	曜日	対　　象	定　員（人数）	前期（人）	後期（人）	種目
1	水　泳・小学生１～２年	木	小学１～２年	30	26	24	水泳
2	〃　・小学生３～６年	木	小学３～６年	60	48	52	水泳
3	〃　・小学生１～２年	金	小学１～２年	30	29	27	水泳
4	〃　・小学生１～２年	土	小学１～２年	30	30	29	水泳
5	〃　・小学生３～６年	土	小学３～６年	60	53	58	水泳
6	〃　・モーニング１	月	成　人	40	35	34	水泳
7	〃　・モーニング２	金	成　人	40	27	28	水泳
8	〃　・ナイト	水	成　人	30	23	23	水泳
9	〃　・水中エクササイズ	水	成　人	40	34	33	水泳
10	〃　・のんびり１	月	成　人	40	12	15	水泳
11	〃　・のんびり２	木	成　人	40	26	27	水泳
12	〃　・ひまわり	水	（幼児以上）とその介助者	20組	11	11	水泳
13	〃　・幼　　児	月	平成22年4月2日～平成23年4月1日生まれの子	30	23	28	水泳
14	〃　・幼　　児	金	平成22年4月2日～平成23年4月1日生まれの子	30	21	24	水泳
15	〃　・親　　子	水	平成23年4月2日～平成25年4月1日生まれの子とその親	20組	5	4	水泳
16	卓　球（硬式&ラージ）・モーニング	火	成　人	30	30	25	卓球
17	卓　球（硬式&ラージ）・アフターヌーン	金	成　人	30	25	23	卓球
18	卓　球（硬式）・ナイト	水	小学生以上	50	39	31	卓球
19	バドミントン・キッズ	月	小学１～３年	25	20	24	バトミントン
20	バドミントン・ジュニア	火	小学４年～高校３年	30	28	27	バトミントン
21	バドミントン・ナイト	水	高校生以上	30	24	27	バトミントン
22	ビーチボールバレー・モーニング	金	成　人	40	26	27	ビーチボールバレー
23	ビーチボールバレー・アフター	月	成　人	40	22	20	ビーチボールバレー
24	ビーチボールバレー・ナイト	金	成　人	40	25	24	ビーチボールバレー
	レクリエーションスポーツ	木	成　人	60	廃止	廃止	レクリエーション
25	体　操・シェイプアップ３Ｂ１	水	成　人・女性	50	50	44	体操
26	体　操・シェイプアップ３Ｂ２	木	成　人・女性	30	23	23	体操
27	体　操・新体操	金	小学１年～高校３年	35	19	23	体操
28	体　操・親子３Ｂ	火	親と子ども	35組	14	12	体操
29	体　操・３Ｂジュニア	水	幼～小学６年	30	11	10	体操
30	体　操・健康づくり３Ｂ	月	６０歳以上	65	62	56	体操
31	体　操・男性のストレッチ３Ｂ	月	成　人・男性	30	16	13	体操
32	ソフトバレーボール・ナイト	土	高校生以上	30	10	10	ソフトバレーボール
	ミニバスケットボールジュニア	土	小学４～６年	35	廃止	廃止	ミニバスケットボール
33	弓　道・モーニング	木	成　人	20	14	14	弓道
34	弓　道・ナイト	木	高校生以上	20	19	16	弓道
35	太極拳・モーニング１	月	成　人	50	49	40	太極拳
36	太極拳・モーニング２	水	成　人	30	15	14	太極拳
37	ヨーガ・モーニング１	木	成　人	40	40	30	ヨーガ
38	ヨーガ・モーニング２	木	成　人	40	40	35	ヨーガ
39	ヨーガ・アフターヌーン	金	成　人	40	35	29	ヨーガ
	硬式テニス・モーニング	火	成　人	35	民間	民間	硬式テニス
	硬式テニス・モーニング	木	成　人	35	民間	民間	硬式テニス
	硬式テニス・ナイト	木	成　人	50	民間	民間	硬式テニス
	ゴルフ・アフターヌーン	火	成　人	50	民間	民間	ゴルフ
	ゴルフ・アフターヌーン	木	成　人	50	民間	民間	ゴルフ
	ゴルフ・アフターヌーン	金	成　人	50	民間	民間	ゴルフ
40	マタニティ　スイミング	木	５～９ヵ月の妊婦	20	2	0	水泳
	ベビーとお母さんの３Ｂ体操	月	３ヶ月以上の赤ちゃん	20組	廃止	廃止	ベビー
	卓球・ナイト２（大和）	金	中学生以上	30	廃止	廃止	卓球
71	夏季水泳　４歳児		年中	30	28		水泳
72	夏季水泳　５歳児		年長	30	20		水泳
73	夏季水泳　小学１～２年生		小学１～２年生	30	29		水泳
74	夏季水泳　小学３～６年生		小学３～６年生	30	30		水泳
75	夏季水泳　小学１～２年生(久井)		小学１～２年生	30	23		水泳
76	夏季水泳　小学３～６年生（久井）		小学３～６年生	30	22		水泳
	夏季陸上競技教室		小・中学生		民間		陸上
			合計	1920	1213	1014	
				90組			

評価・点検シート	施策・事業名	大規模スポーツ大会開催費補助事業	主要事業28

三原市教育振興計画 掲載ページ	16	所管課	スポーツ振興課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－2	スポーツ	
施策の枠	2－2－4	スポーツの推進	

内容

〔全体事業概要〕

・大規模スポーツ大会を開催することにより，広く市民がスポーツに親しめる機会を創出する。また，プロスポーツ大会等を開催し，「するスポーツ」だけでなく，「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」に参加する機会を増やし，「市民ひとり，１スポーツ」を推進する。

〔当年度事業概要〕

・第９回村田兆治旗争奪少年野球三原市大会（中四国大会・２日以上）：30万円
・2016三原・白竜湖トレイルランレース（中四国大会・１日）：20万円
・三原市長杯三原中央リトルシニア野球協会創立35周年記念大会（中国大会・２日）：20万円
・その他：市民体育大会360万円，白竜湖ふれあいｸﾞﾘｰﾝﾏﾗｿﾝ大会150万円，ｳｴｽﾀﾝ･ﾘｰｸﾞ開催120万円
ﾄﾗｲｱｽﾛﾝさぎしま大会50万円，全国高等学校総合体育大会337万円

取組状況

・本市のスポーツ振興や競技者技術の向上に寄与する大規模スポーツ大会に対して補助金を交付することにより，大規模大会の開催を支援し，交流人口の拡大を図った。

大会規模	参加チーム又は参加者	個人参加者	団体参加者
全国大会	24都道府県以上	1500人以上	700人以上
西日本大会	12都道府県以上	1000人以上	
中四国大会	5都道府県以上	700人以上	
中国大会	3都道府県以上	500人以上	500人以上

※参加者数に県外登録者の要件あり

大会	補助金の限度額	
	期間1日	期間2日以上
全国大会	60万円	100万円
西日本大会	30万円	50万円
中四国大会	20万円	30万円
中国大会	10万円	20万円

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度 目標値	本年度 自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
７件	８件	８件	A順調					
市内における大規模スポーツ大会及びプロスポーツ興行の開催件数				７件	８件	―	―	―

成果・課題

（成果）
・毎年約5,000人の集客があるプロ野球ウエスタン・リーグ公式戦では，市民がスポーツに接する機会を創出するとともに，『みるスポーツ』『ささえるスポーツ』へ寄与している。その他の大会も毎年順調に開催され，市民参加や市外からの交流人口の増加に寄与している。
（課題）
・各競技団体主催の大規模大会については，少子化による参加数の減少や運営スタッフ(競技団体)の高齢化・担い手不足などが見られ，今後の継続開催が危惧される。
・近隣地で同様の大規模大会が増加しているため，特色ある大会を開催しないと選手の確保が難しくなる。

今後の取組

・次年度以降も現在行われている大会については引き続き支援を行い，大会の継続開催を推進する。
・各競技団体に働きかけ，他の大規模大会の開催を目指す。
〇次年度目標値：８件

評価・点検シート	施策・事業名	競技団体指導者育成支援事業	主要事業29

三原市教育振興計画 掲載ページ	16	所管課	スポーツ振興課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－2	スポーツ	
施策の枠	2－2－4	スポーツの推進	

内容

〔全体事業概要〕
・体育協会と連携し，各競技団体の審判員や指導者を育成することにより，スポーツの振興を図る。

〔当年度事業概要〕
・指導者・審判育成事業を含む各種事業を実施している体育協会に補助金を交付することにより，審判員や指導員を育成し，スポーツ人口の拡大と生涯スポーツの普及，競技スポーツのレベルアップを図る。

取組状況

・平成28年度資格取得者状況
　資格取得者　60名
　講習会等参加者　36名

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度 目標値	本年度 自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
69人	70人	60人	A順調					
指導者・審判資格取得者				41人	60人	―	―	―

成果・課題

（成果）
・毎年多数の資格取得者や講習会参加者があり，三原市のスポーツ人口の拡大と生涯スポーツの普及，競技スポーツのレベルアップに寄与している。
（課題）
・スポーツクラブに在籍する小学生の親が資格を取った後，子供の卒業とともにスポーツから離れる傾向が多く見られる。

今後の取組

・体育協会加盟26団体に，事業の積極的な活用を依頼するとともに，資格取得者には継続してスポーツに携わるよう啓発する。
〇次年度目標値：65人

評価・点検シート	施策・事業名	スポーツ施設整備事業（修繕・整備計画の策定・実施）	その他5
三原市教育振興計画 掲載ページ	16	所管課	スポーツ振興課
基本目標	2	地域の文化と多様な人材を育むまち	
政策の柱	2－2	スポーツ	
施策の枠	2－2－4	スポーツの推進	

内容

〔全体事業概要〕
・スポーツ施設の修繕・整備計画を策定し，実施していく。

〔当年度事業概要〕
・市保有のスポーツ施設は老朽化が進んでおり，修繕の必要な場所が多く見られる。現在は，故障修繕を中心に行っている。

取組状況

・平成28年度スポーツ施設修繕・整備状況
- ・リージョンプラザ　プール浄化装置整備（370千円）
- ・リージョンプラザ　冷却塔更新及び冷凍機分解整備工事（14,225千円）
- ・リージョンプラザ　舗装修繕工事（14,430千円）
- ・三原運動公園　野球場高圧ケーブル改修工事（1,920千円）

事業指標

実績値 平成26年度	目標値（Ｈ３１）	当年度 目標値	本年度 自己評価	実績値 平成27年度	実績値 平成28年度	実績値 平成29年度	実績値 平成30年度	実績値 平成31年度
―	―	―	Ｂやや遅れ					
				―	―	―	―	―

成果・課題

（課題）
・公共施設マネジメントと連動させながら，修繕・整備計画を策定していく必要がある。

今後の取組

・策定中の公共施設マネジメントと連動させた施設修繕・整備計画を策定する。
〇次年度目標値：施設修繕・整備計画の策定

Ⅴ　学識経験者の意見等

学識経験者に対し，教育委員会が取り組む基本施策及び平成２８年度重点事業について説明を行い，評価会議において出された意見等について，施策ごとにとりまとめを行った。

基本目標　地域の文化と多様な人材を育むまち

政策の柱：教育

（１）学校教育の充実	
主要事業　１	教育創造プラン推進事業（学力向上）
主要事業　２	教育創造プラン推進事業（体力向上）
主要事業　３	わが校自慢支援事業
主要事業　４	グローバル社会をたくましく生きる力の育成（英語検定受験の検定料補助等）
主要事業　５	学校給食事業
その他　　１	カウンセリング・相談活動事業
学識経験者の意見等	
・順調に成果を上げており評価できる。引き続き，一連の PDCA サイクルの取組を継続してほしい。（主要事業１・主要事業２） ・個別の学校課題についても十分に把握し，総合的な取組を行っていくことが重要である。（主要事業１・主要事業２） ・実用英語技能検定（英検）受験者の増加に向けて，英語教諭に留まらず，学校全体としての取組を強化し，英語力の向上につなげていくことが必要である。（主要事業４） ・学校給食で使用する地場産物（野菜等）の種類や量，使用時期等の情報を生産者に早期に提供するなど，生産者側が提供しやすい体制を整えていくことが必要である。（主要事業５） ・今後の取組として，次期計画における事業指標の割合を，地場産物の使用量（重量）で行うのではなく，購入総額や総カロリー数など，別の指標も検討してみてはどうか。（主要事業５）	

政策の柱：教育

（２）教育環境の整備・充実	
主要事業　６	三原市立学校適正配置事業
主要事業　７	三原市幼稚園・保育所等適正配置事業
主要事業　８	学校施設耐震化整備事業
主要事業　９	学校施設維持修繕事業
主要事業１０	学校教材備品整備事業（理科教育設備整備・情報教育環境整備）
学識経験者の意見等	
・統合未実施地域の理解を得るためには，統合校の見学会開催や統合後の学校の様子を情報提供するなど，別の角度からアプローチを行うことも必要である。（主要事業６） ・学校施設，設備の老朽化に対応するため，幅広い意見を汲み取った予算確保に努め，計画的な改修・修繕を実施していく必要がある。また，教育環境の充実のため，教室へのエアコン設置にも取り組んでほしい。（主要事業９） ・情報機器等の整備（更新）を進めるとともに，ICT 機器に頼らず児童・生徒の情報処理に関する考えや力を育成していく観点を持ち，事業を推進してほしい。（主要事業１０）	

政策の柱：教育

（３）青少年の健全育成	
主要事業１１	青少年教育施設管理運営事業
主要事業１２	青少年健全育成事業
主要事業１３	少年少女海外交流研修事業及び訪日交流事業
主要事業１４	親善都市交流事業
主要事業１５	放課後子ども教室推進事業
その他　　２	青少年指導相談事業
学識経験者の意見等	
・長年の継続実施により事業も定着し，学習システムも構築されており評価できる。今後，発展的な事業展開が図れるよう，次期事業計画の検討を行う時期ではないか。（主要事業１３） ・青少年指導相談員と青少年支援相談員を一体化し，事務分担の見直し等を行うことにより，学校復帰や社会的自立への支援と取組の強化を図ってはどうか。（その他２）	

政策の柱：生涯学習

（１）生涯学習の振興	
主要事業１６	生涯学習推進事業
主要事業１７	生涯学習施設における活動の推進
主要事業１８	図書館管理運営事業
その他　　３	生涯学習施設整備事業（久井公民館移転）
学識経験者の意見等	
・次年度への取組として，課題解決に向けての新しい試みやチャレンジ項目について，具体的な取組内容の記載があれば，より理解を得やすいのではいないか。（主要事業１６）	

政策の柱：文化

（１）文化・芸術の振興	
主要事業１９	芸術文化センター管理運営業務
主要事業２０	企画展覧会
主要事業２１	三原市美術展覧会
学識経験者の意見等	
・少しでも多くの市民が，多様な芸術作品に触れる機会を提供するという目標からすると，今後は，来館者数という事業指標も検討する必要があると思う。（主要事業２０）	

政策の柱：文化

（２）歴史・文化財を活かしたまちづくり	
主要事業２２	天然記念物の保存・公開（沼田西エヒメアヤメ）
主要事業２３	小早川氏城跡保存整備事業
主要事業２４	記念物保存活用事業
主要事業２５	歴史民俗資料館の管理・運営
主要事業２６	歴史・文化財ボランティア育成事業
その他　　４	小早川隆景ものがたり事業（講演会事業，映像作成事業）
学識経験者の意見等	
・地元で保護活動や調査等に携わったことのある経験者を発掘し，協力を依頼するなど，調査員の人員確保に努めるとともに，個体数の維持に取り組んでほしい。（主要事業２２） ・三原城跡歴史公園整備後の管理は，地元の力も借りながら管理に当たることが望ましい。（主要事業２３）	

政策の柱：スポーツ

（１）スポーツの推進	
主要事業２７	スポーツ教室運営事業
主要事業２８	大規模スポーツ大会開催費補助事業
主要事業２９	競技団体指導者育成支援事業
その他　　５	スポーツ施設整備事業（修繕・整備計画の策定・実施）
学識経験者の意見等	
・「三原といえばこのスポーツ」というように，特定の大会（競技）に重み付けをし，継続的に取り組めば集客につながる。また，大会とスポーツ教室を連動させ，競技者の育成を図るなど，競技人口を増やす総合的な仕掛けが必要である。（主要事業２７・主要事業２８）	

教育委員会が取り組む基本施策及び平成２８年度重点事業一覧

地域の文化と多様な人材を育むまち					
政策の柱	施策の枠	事業番号		施策・事業名	担当課
1 教育 【2-1】	(1) 学校教育の充実 【2-1-1】	主要事業	1	教育創造プラン推進事業（学力向上）	学校教育課
		主要事業	2	教育創造プラン推進事業（体力向上）	
		主要事業	3	わが校自慢支援事業	
		主要事業	4	グローバル社会をたくましく生きる力の育成（英語検定受験の検定料補助等）	
		主要事業	5	学校給食事業	学校給食課
		その他	1	カウンセリング・相談活動事業	学校教育課
	(2) 教育環境の整備・充実 【2-1-2】	主要事業	6	三原市立学校適正配置事業	教育振興課
		主要事業	7	三原市幼稚園・保育所等適正配置事業	
		主要事業	8	学校施設耐震化整備事業	
		主要事業	9	学校施設維持修繕事業	
		主要事業	10	学校教材備品整備事業 （理科教育設備整備・情報教育環境整備）	
	(3) 青少年の健全育成 【2-1-3】	主要事業	11	青少年教育施設管理運営事業	生涯学習課
		主要事業	12	青少年健全育成事業	
		主要事業	13	少年少女海外交流研修事業及び訪日交流事業	
		主要事業	14	親善都市交流事業	
		主要事業	15	放課後子ども教室推進事業	
		その他	2	青少年指導相談事業	学校教育課
2 生涯学習 【2-2】	(1) 生涯学習の振興 【2-2-1】	主要事業	16	生涯学習推進事業	生涯学習課
		主要事業	17	生涯学習施設における活動の推進	
		主要事業	18	図書館管理運営事業	
		その他	3	生涯学習施設整備事業（久井公民館移転）	
3 文化 【2-2】	(1) 文化・芸術の振興 【2-2-2】	主要事業	19	芸術文化センター管理運営業務	文化課
		主要事業	20	企画展覧会	
		主要事業	21	三原市美術展覧会	
	(2) 歴史・文化財を活かしたまちづくり 【2-2-3】	主要事業	22	天然記念物の保存・公開（沼田西エヒメアヤメ）	
		主要事業	23	小早川氏城跡保存整備事業	
		主要事業	24	記念物保存活用事業	
		主要事業	25	歴史民俗資料館の管理・運営	
		主要事業	26	歴史・文化財ボランティア育成事業	
		その他	4	小早川隆景ものがたり事業（講演会事業，映像作成事業）	
4 スポーツ 【2-2】	(1) スポーツの推進 【2-2-4】	主要事業	27	スポーツ教室運営事業	スポーツ振興課
		主要事業	28	大規模スポーツ大会開催費補助事業	
		主要事業	29	競技団体指導者育成支援事業	
		その他	5	スポーツ施設整備事業（修繕・整備計画の策定・実施）	

みはら元気創造プランの施策の体系

① 将来像

行きたい 住みたい つながりたい 世界 へはばたく 瀬戸内元気都市みはら

② 三原元気戦略

活力づくり　安心づくり

③ 基本目標

基本目標1	新しい三原をつくる協働のまち
基本目標2	地域の文化と多様な人材を育むまち
基本目標3	多様な産業と多彩な交流による活力あるまち
基本目標4	健やかに暮らせる人に優しいまち
基本目標5	安心して快適・安全に住み続けられるまち

計画の実現に向けて

④ 5つの挑戦

- 働く場づくり（市内就業者数）
- 交流人口拡大（市外からの年間観光客数）
- 子ども・子育て充実（合計特殊出生率）
- 市民の健康づくり（健康寿命）
- 住み良さ向上（社会動態の人口変動）

人材育成

●元気実現の突破口として，三原元気戦略を推進するため，「5つの挑戦」を定め，挑戦ごとに最優先で取り組む挑戦テーマ及び達成度を測る指標を設定。
●各挑戦には，元気を具体化する全庁的な取組を選定。

※（ ）内は，達成度を測る指標です。

⑤ 各論

（基本目標）	（政策）		（施策）	
基本目標1 新しい三原をつくる協働のまち	1-1	人権・男女共同参画	1-1-1	人権教育・啓発の推進
			1-1-2	男女共同参画社会の形成
	1-2	元気な地域	1-2-1	地域づくり活動の活性化
			1-2-2	移住・定住の促進
	1-3	市民協働	1-3-1	市民協働のまちづくりの推進
			1-3-2	産学官連携の推進
基本目標2 地域の文化と多様な人材を育むまち	2-1	教育	2-1-1	学校教育の充実 ○
			2-1-2	教育環境の整備・充実 ○
			2-1-3	青少年の健全育成 ○
	2-2	生涯学習，文化・スポーツ	2-2-1	生涯学習の振興 ○
			2-2-2	文化・芸術の振興 ○
			2-2-3	歴史・文化財を活かしたまちづくり ○
			2-2-4	スポーツの推進 ○
基本目標3 多様な産業と多彩な交流による活力あるまち	3-1	商工業・サービス業	3-1-1	工業の振興
			3-1-2	商業・サービス業の振興
			3-1-3	起業・経営・就労の支援
	3-2	農林水産業	3-2-1	農林水産業の担い手育成と生産振興
			3-2-2	農林水産基盤の保全と長寿命化
	3-3	観光・交流	3-3-1	戦略的な観光振興の推進
			3-3-2	国際化の推進 △
	3-4	交流・連携基盤	3-4-1	快適で安全な道路網の形成
			3-4-2	空港・港湾を活かしたまちづくり
			3-4-3	ICT（情報通信技術）を活かしたまちづくり
			3-4-4	中心市街地の活性化
基本目標4 健やかに暮らせる人に優しいまち	4-1	子ども・子育て	4-1-1	多様な教育・保育サービスの充実 △
			4-1-2	子ども・子育て支援の充実 △
	4-2	健康・医療	4-2-1	健康づくりの推進
			4-2-2	医療体制の構築
	4-3	福祉・介護	4-3-1	長寿社会対策の推進
			4-3-2	障害者福祉の充実
			4-3-3	社会保障制度の適正な運営
基本目標5 安心して快適・安全に住み続けられるまち	5-1	防災	5-1-1	災害対応力の強化
			5-1-2	災害に強いまちの構築
	5-2	生活の安全安心	5-2-1	消防・救急体制の整備
			5-2-2	防犯活動・交通安全対策の推進
			5-2-3	消費者・生活者の安心の確保
	5-3	環境	5-3-1	環境保全と低炭素まちづくりの推進
			5-3-2	健康型社会形成の推進
	5-4	生活基盤	5-4-1	計画的なまちづくりの推進
			5-4-2	都市・生活基盤の整備
			5-4-3	安全でおいしい水の供給
			5-4-4	汚水の適正処理
			5-4-5	快適・安全な住まいづくり
			5-4-6	持続可能な地域公共交通網の形成
計画の実現に向けて	6-1	効果的・効率的な行財政運営	6-1-1	行財政改革の推進
			6-1-2	公共施設等マネジメントの推進
	6-2	透明性の高い行政運営と情報発信	6-2-1	市政情報の発信
	6-3	地方分権型社会に対応した行政経営	6-3-1	地域の自主性・自立性を高める取組の推進

注：三原市教育振興基本計画該当箇所
○…全ての施策 ⇒ p 4～p17
△…一部の施策 ⇒ p18～p23（p19・p21・p23の ※ 参照）